

ARCHI
T R E N D



リフォームエディション

リフォーム見積編

目次

1 リフォーム見積とは _____ 3

1-1 リフォーム見積の概要 _____	3
リフォーム見積の特徴 _____	3
プログラム構成とフロー _____	4
1-2 画面まわりを確認しよう _____	5

2 見積を作成する (CAD データ連携なし) _____ 6

2-1 リフォーム例 _____	6
2-2 見積の新規作成 _____	7
リフォーム見積を起動する _____	7
工事内容を選ぶ _____	7
2-3 明細の編集 _____	9
明細を確認する _____	9
明細を追加する _____	10
不要な明細を削除する _____	12
数量を入力する _____	12
単価を修正する _____	13
データを保存する _____	13
2-4 見積金額から実行予算を作成する _____	15
見積予算と実行予算を比較する _____	15
粗利率で金額を調整する _____	16
小計を挿入する _____	17
経費行の掛け率を変更する _____	17
単価を修正する _____	18
編集した明細を実行予算に反映する _____	18
見積書・実行予算書を印刷する _____	19
データを保存する _____	19

補足

追加した明細をテンプレートに登録するには _____	14
Excel のセルのコピー・貼り付け機能 (Excel ⇄ リフォーム見積) _____	14
別の見積データを表示して比較するには _____	20
CSV ファイルに出力するには _____	20

3 見積を作成する (CAD データ連携あり) _____ 21

3-1 リフォーム例 _____	21
3-2 リフォームエディションの間取り入力 _____	22
計画図の間取りを入力する _____	22
リフォームエリアを入力する _____	22
3-3 見積データの新規作成 _____	23
リフォーム見積を起動する _____	23
工事内容を選ぶ _____	23
リフォームエリアから連携した明細を確認する _____	25
工事を追加する _____	25
不要な明細を削除する _____	27
タイルなど明細を追加する _____	27
仕上などの数量の根拠を確認する _____	28
数量を変更する _____	29
住宅設備の単価を登録する _____	31
3-4 見積金額から実行予算を作成する _____	33

補足

部屋の連携について _____	24
-----------------	----

4 テンプレートの編集 _____ 34

4-1 テンプレート サンプル _____	34
4-2 テンプレートの編集 _____	34
テンプレートファイルを開く _____	34
明細を追加するには _____	36
単価を設定するには _____	37
計算式を登録するには _____	37
4-3 テンプレートと工事内容の関連付け _____	41
工事内容を追加する _____	41
テンプレートを割り当てる _____	41
関連付けを確認する _____	42
テンプレートを使用する _____	42
4-4 テンプレート・共通設定のバックアップ _____	43
データをバックアップする _____	43
データをリストアする _____	44

補足

m ² から枚数に換算して数量を算出するには _____	39
建具・住宅設備の明細について _____	40

【付録】 計算式 _____ 45

1

リフォーム見積とは

ARCHITREND Z リフォームエディション見積（以降「リフォーム見積」）は、リフォーム工事業業者、お施主様提示用の住宅工事の見積書、実行予算書を作成するプログラムです。

リフォーム見積プログラムだけを使って見積を作成したり、リフォームエディションの計画図で入力したCADデータを利用して見積を作成することができます。

1-1 リフォーム見積の概要

リフォーム見積の特徴

■ 利益を確認できる見積システム

見積金額と実行予算を表示して、リアルタイムに粗利率、粗利率を確認できます。また、指定した粗利率で見積金額⇒実行予算、実行予算⇒見積金額への金額調整を行うことができます。

見積金額の比較	見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
全体の比較	694,522	520,880	173,639	25.00 %

見積金額		DKリフォーム：DKリフォーム見積アワード		合計	
1	【壁改修工事】				
2	壁下地工事	26.82	m ²	3,800	101,916 材工
3	壁ボード貼り工事	26.82	m ²	1,500	40,230 材工
4	巾木	12.46	m	550	6,853 材工
5	壁クロス工事	23.19	m ²	1,400	32,466 材工
6	タイル工事	3.62	m ²	5,000	18,100 材工
7	【住宅設備機器】				199,595
8	2550缶シンク食洗有...	1.00	式	200,000	200,000
				469,565 円	

実行予算		DKリフォーム：DKリフォーム見積アワード		合計	
1	【壁改修工事】				
2	壁下地工事	26.82	m ²	2,850	76,437 材工
3	壁ボード貼り工事	26.82	m ²	1,125	30,172 材工
4	巾木	12.46	m	412	5,133 材工
				952,166 円	

■ リフォームエディションのCADデータを利用可能

CADデータを利用することで仕上面積などの数量を拾うことができます。

名称	仕種	数量	単位
1	【壁改修工事】		
2	壁下地工事	26.82	m ²
3	壁ボード貼り工事	26.82	m ²
4	巾木	12.46	m
5	壁クロス工事	23.16	m ²
6	タイル工事	3.62	m ²
7	【住宅設備機器】		



■ 部位別集計による明細

リフォーム見積では、見積金額、実行予算の明細も部位別集計となっています。

名称	仕種	数量	単位	見積単価	金額	備考
1	【壁改修工事】					
2	床下地合板貼り工事	13.24	m ²	2,300	30,452	材工
3	床貼り工事	70-リック	m ²	7,000	92,680	材工
4	【壁改修工事】					
5	壁下地工事	26.82	m ²	3,800	101,916	材工
6	壁ボード貼り工事	26.82	m ²	1,500	40,230	材工
7	巾木	12.46	m	550	6,853	材工
8	壁クロス工事	23.16	m ²	1,400	32,424	材工
9	【天井改修工事】					
10	天井下地工事	野縁組	m ²	3,800	46,018	材工
11	天井ボード貼り工事	石膏ボード95...	m ²	1,500	18,165	材工

■ CADデータがなくても見積作成が可能

数量、見積単価、工事単価などを入力した明細のテンプレートを使用することで、CADデータがなくても見積を作成できます。

名称	仕種	備考	数量	単位	工事単価	見積単価
1	【壁改修工事】					
2	2.0ｸﾞﾗｰﾄﾞ金ｺﾞﾗﾝﾄﾞ			m ²	3,075	4,100
3	モﾙﾄﾙ刷毛ｺﾞﾗﾝﾄﾞ			m ²	2,625	3,500
4	交換床ｲﾝﾙ	300角		m ²	15,000	20,000
5	床ﾓﾙﾙ			m ²	15,000	20,000
6	床下地合板貼り工事			m ²	1,800	2,300
7	床貼り工事	70-リック		m ²	5,400	7,000
8	床貼り工事	縁甲板		m ²	5,000	6,500

【テンプレート】

プログラム構成とフロー

用途に合わせて、使用するプログラム、フローが異なります。

■ 現場調査後すぐに見積を作成したい場合

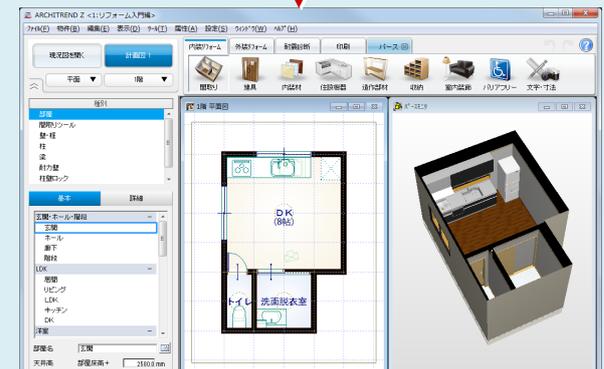
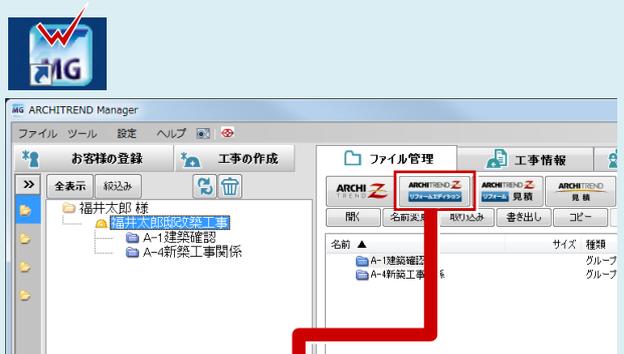
現場調査後、間取りなどCADデータの入力を必要せず、すぐに見積の作成に入りたい場合は、マネージャーからリフォーム見積を起動して見積データを作成していきます。



【リフォーム見積】

■ CADデータを有効活用したい場合

現場調査後、間取りなどCADデータを入力する、または計画図のデータがあるため、CADデータを利用して仕上面積の数量などを拾いたい場合は、リフォームエディションの計画図からリフォーム見積を起動して見積データを作成していきます。



【リフォームエディション：計画図】



【リフォーム見積】

1-2 画面まわりを確認しよう

入力画面について、各部の名称と機能を確認しましょう。

見積金額／実行予算
それぞれの明細の表示／非表示を切り替えます。

タイトルバー
作業中の物件および図面（ウィンドウ）の名前が表示されます。

プルダウンメニュー
目的別のメニューからコマンドを選択して処理を行います。

見積金額の比較
見積金額と実行予算を比較し、粗利額、粗利率を表示します。

印刷
見積金額、実行予算を印刷します。

計画図の物件名：見積データの名称
リフォームエディションから連携した場合は、計画図の物件名、見積データの名称が表示されます。

図面から数量取得
リフォームエディションから連携した場合に表示され、連携元の計画図から仕上などの数量を取得できます。

明細
見積金額／実行予算の明細を表示し、数量、単位、単価などを編集します。

合計金額
[見積金額] で選んでいる工事の合計金額が表示されます。

合計金額
[実行予算] で選んでいる工事の合計金額が表示されます。

ポップアップメニュー
マウスの右クリックで表示されるメニューです。選択する行、セルに関連する機能がまとめられています。

テンプレート
部屋、工事ごとに、よく使用する明細（名称、数量、単位、工事単価、見積単価、換算率など）を登録しておくことで、編集の手間を少なくできます。

テンプレート編集

内蔵明細テンプレート

基準単価 工事単価 見積単価

追加 削除

<テンプレート編集中> 追加 削除

基本	金属建具	木建具	名称	仕様	備考	数量	単位	工事単価	見積単価	粗利率(%)	計算式	換算率	丸め
1			【床改装工事】										
2			エンクリート金ゴザ押工		材工		m2	3,075	4,100	25.00	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
3			モルタル刷毛引き		材工		m2	2,625	3,500	25.00	H\Y00130	÷ 1.0000	実数
4			玄関床カイル	300角	材工		m2	15,000	20,000	25.00	H\Y00010+H\Y0...	÷ 1.0000	実数
5			床モルタル		材工		m2	15,000	20,000	25.00	H\Y00010+H\Y0...	÷ 1.0000	実数
6			床下地合板貼り工事		材工		m2	1,800	2,300	21.73	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
7			床貼り工事	フローリング	材工		m2	5,400	7,000	22.85	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
8			床貼り工事	緑甲板	材工		m2	5,000	6,500	23.07	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
9			床貼り工事	合板12mm	材工		m2	3,000	4,000	25.00	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
10			床貼り工事	クッション707	材工		m2	3,600	4,800	25.00	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
11			床貼り工事	シナ合板 6mm	材工		m2	1,950	2,600	25.00	H\Y00010	÷ 1.0000	実数
12			上階取付	化粧シート	材工		m	15,000	19,000	21.05		÷ 1.0000	切り上げ
13			付帯取付	化粧シート	材工		m	5,175	6,900	25.00	H\Y00140	÷ 1.0000	実数
14			床下点検口	600角	材工		式	3,400	4,500	24.44		÷ 1.0000	切り上げ

編集モード

保存 戻る

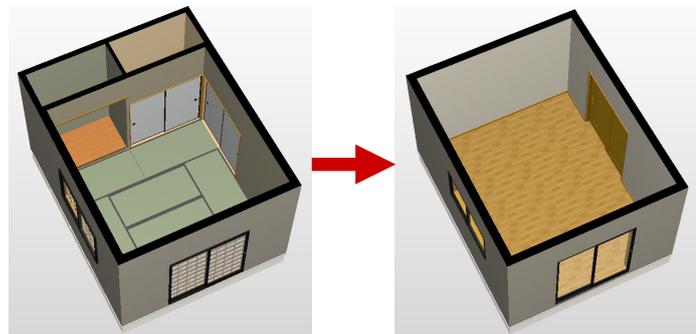
2 見積を作成する (CAD データ連携なし)

ここでは、次のリフォーム例をもとに、CAD データを利用せずに、明細項目を追加したり、単価、数量などを修正して、見積を作成していく流れを解説します。

2-1 リフォーム例

工事概要

ここでは、和室を洋室へリフォームする工事内容を例に、見積の作成を解説します。



【リフォーム前】

【リフォーム後】

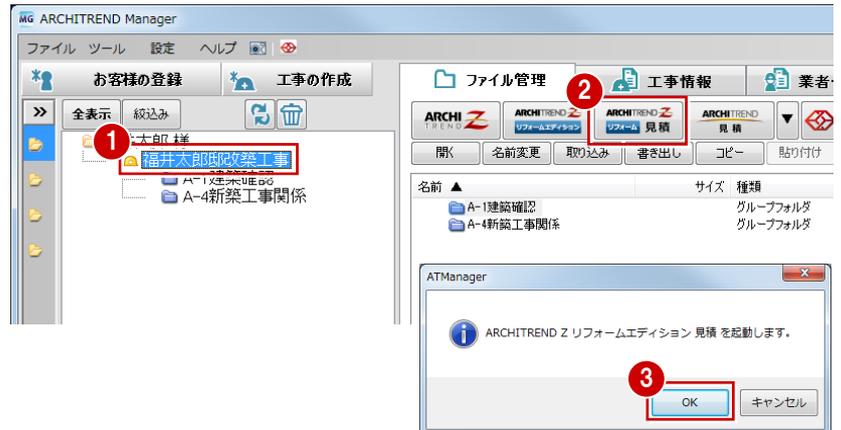
■ 内装リフォーム工事：和室を洋室へ変更

	リフォーム前	リフォーム後
床	畳敷き	フローリング床
壁	ジュラクビニールクロス	ビニールクロス
天井	杉柂銘木敷目地天井	ビニールクロス
建具	<ul style="list-style-type: none"> ・ふすま (w1715 h1800) ・ふすま (w1715 h1800) ・金属 2 枚引き違い窓 (内障子あり : w1720 h1100) ・金属 2 枚引き違い戸 (内障子あり : w1720 h1800) 	<ul style="list-style-type: none"> ・木製 2 枚引き違い戸 (w1595 h2000) ・金属 2 枚引き違い窓 (w1650 h900) ・金属 2 枚引き違い戸 (w1650 h2000)

2-2 見積の新規作成

リフォーム見積を起動する

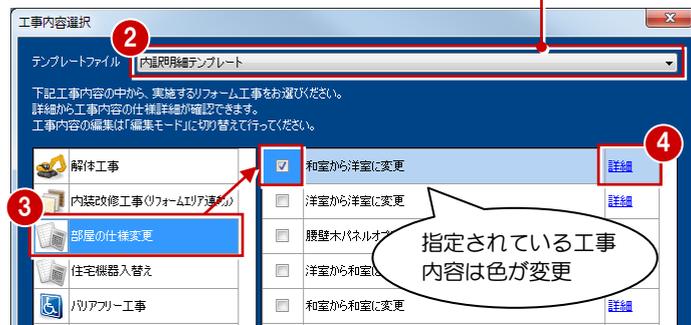
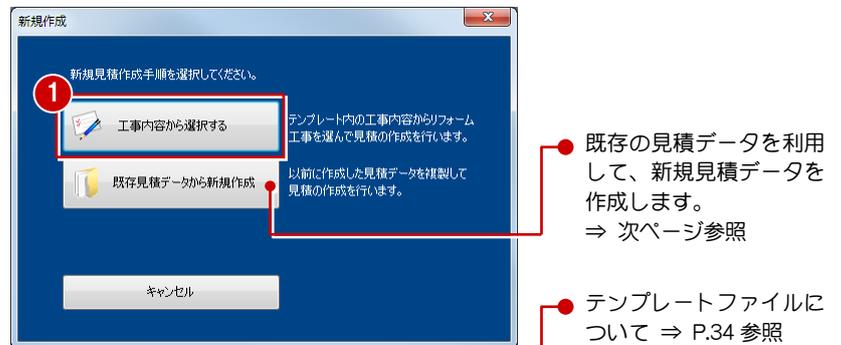
- 1 工事を選びます。
- 2 [リフォームエディション見積] をクリックします。
- 3 確認画面で [OK] をクリックします。



工事内容を選ぶ

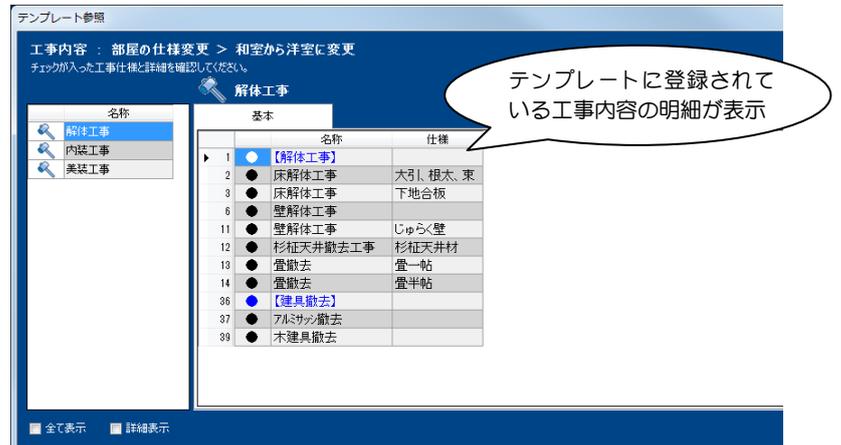
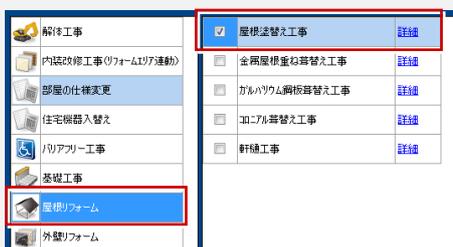
テンプレートから工事内容を選びます。

- 1 [新規作成] ダイアログの [工事内容から選択する] を選びます。
- 2 [テンプレートファイル] を選びます。
- 3 [部屋の仕様変更] を選び、[和室から洋室に変更] にチェックを付けます。
- 4 [詳細] を選んで、工事内容の明細を確認します。



同時に複数の工事を行う場合

例えば、同時に屋根の改修工事を行う場合は、屋根の工事にもチェックを付けることで、複数の見積を作成できます。
工事内容ごとに、[詳細] をクリックして明細を確認してください。



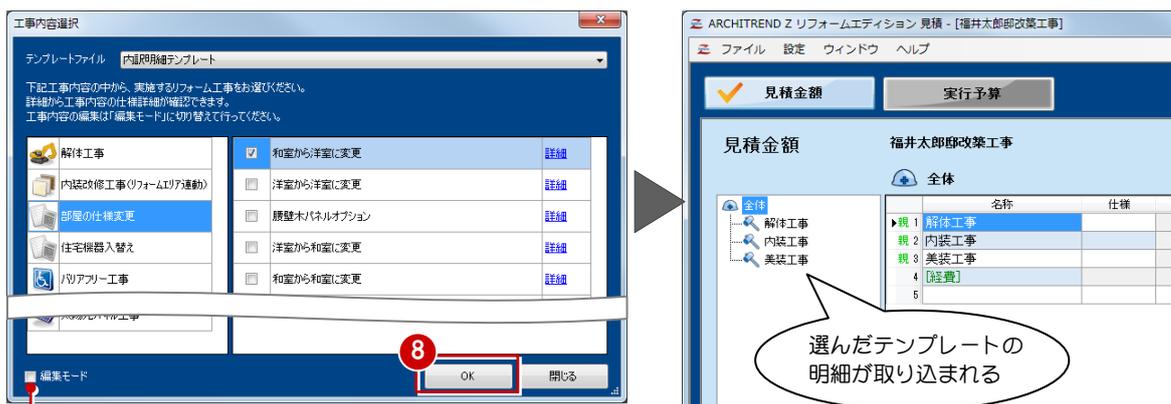
2 見積を作成する (CAD データ連携なし)

- 5 [詳細表示] にチェックを付けて、数量や工事単価などを表示します。
- 6 工事を切り替えて、明細を確認します。
- 7 [閉じる] をクリックします。
- 8 [工事内容選択] ダイアログの [OK] をクリックします。

テンプレートに目的の明細がない場合は、テンプレートを取り込んだ後に明細を追加していきます。
 もしくは、テンプレート (工事内容、単価など) を編集します。
 ⇒ 編集については、P.34 参照



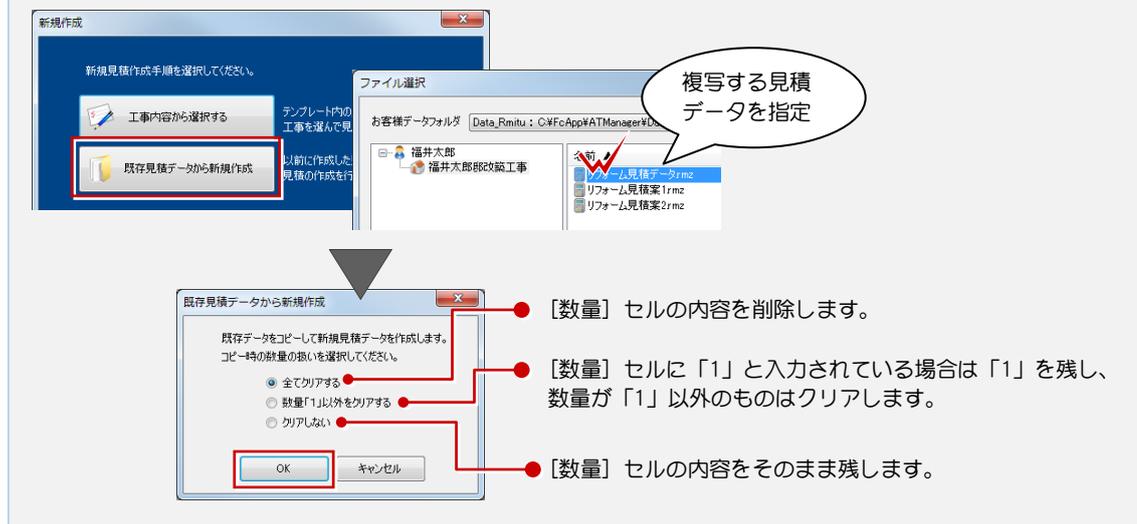
工事内容によっては、複数の工事が登録されています。



[編集モード] を ON にすることでテンプレート (工事内容、単価など) を編集できます。

既存見積データから新規作成

見積案を複数作成したい場合など、既存データを複製して、新規見積データを作成するときに使用します。



2-3 明細の編集

明細を確認する

- 1 左側のツリーから工事を選びます。
- 2 明細の項目を確認します。

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1 【床改裝工事】						
2 床下地板貼り工事	フローリング		m ²	2,300		材工
3 床貼り工事			m ²	7,000		材工
4 【壁改裝工事】						
5 壁下地工事			m ²	3,800		材工
6 壁ボード貼り工事	石膏ボード...		m ²	1,500		材工
7 巾木	化粧シート		m	550		材工
8 壁クロス工事			m ²	1,400		材工
9 【天井改裝工事】						
10 天井下地工事	野縁組		m ²	3,800		材工
11 天井ボード貼り工事	石膏ボード...		m ²	1,500		材工
12 廻縁	化粧シート		m	400		材工
13 天井クロス工事			m ²	1,400		材工
14 【鋼製建具】						

テンプレートには数量はセットされていないため、[数量]セルは空欄となり、[合計]も0円となります。

明細の各項目は、マウスのドラッグ操作で項目欄の表示幅を変更できます。

名称	仕様
床改裝工事	
下地板貼り工事	フローリング
貼り工事	

明細の編集について

見積書を作成していくにあたって、見積金額(見積単価)を基準に実行予算(工事単価)を調整する場合は、[見積金額]の明細の単価、数量などを編集していきます。逆に、実行予算(工事単価)を基準に見積金額(見積単価)を調整する場合は、[実行予算]の明細の単価、数量などを編集していきます。

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1 【床改裝工事】						
2 床下地板貼り工事	フローリング		m ²	2,300		材工
3 床貼り工事			m ²	7,000		材工
4 【壁改裝工事】						
5 壁下地工事			m ²	3,800		材工
6 壁ボード貼り工事	石膏ボード...		m ²	1,500		材工
7 巾木	化粧シート		m	550		材工
8 壁クロス工事			m ²	1,400		材工

【見積金額の明細】

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1 【床改裝工事】						
2 床下地板貼り工事	フローリング		m ²	2,300		材工
3 床貼り工事			m ²	7,000		材工
4 【壁改裝工事】						
5 壁下地工事			m ²	3,800		材工
6 壁ボード貼り工事	石膏ボード...		m ²	1,500		材工
7 巾木	化粧シート		m	550		材工
8 壁クロス工事			m ²	1,400		材工

【実行予算の明細】

実行予算の明細を表示するには

画面上部にある[実行予算]をクリックすると、画面が下部に実行予算の明細が表示されます。次に[見積金額]をクリックすると、実行予算の明細のみが表示されます。

2 見積を作成する (CAD データ連携なし)

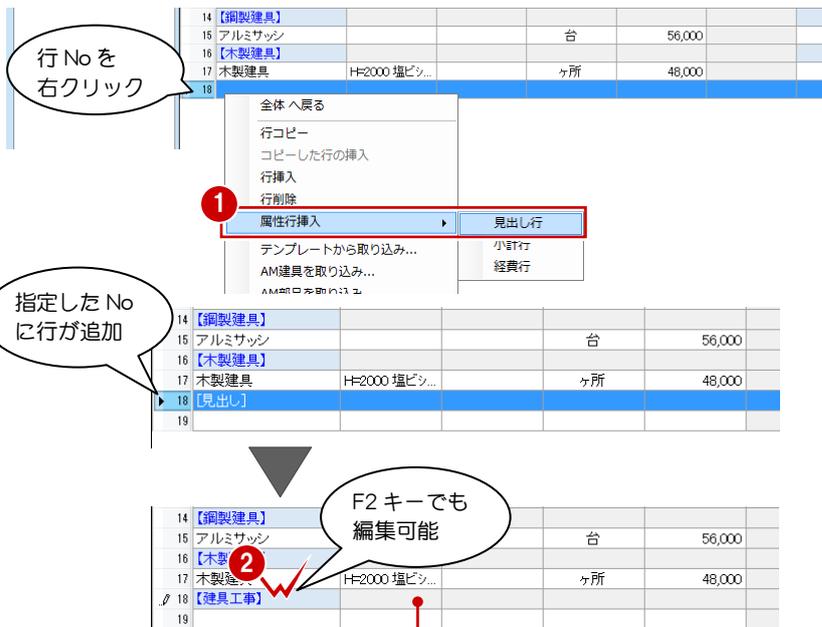
明細を追加する

建具を例に、明細の追加方法を解説します。

※ テンプレートには、【鋼製建具】【木製建具】がありますが、ここでは【建具工事】の見出しを作成して、明細を追加してみましょう。

— 見出し行を挿入する —

- 1 明細を追加する行 No を右クリックして、[属性行挿入] の [見出し行] を選びます。
- 2 [名称] をダブルクリックして、見出し行の名称を変更します。



● 数量、単価などの設定が不要な場合は、見出し行を使用します。
(灰色のセルは設定不可を示します)

— 建具の明細を追加する —

- 1 追加する位置の行 No を右クリックして、[行挿入] を選びます。
- 2 明細にチェックを付け、名称、備考、見積単価を入力します。
- 3 [単位] を右クリックして、[単位マスタ] を選びます。
- 4 ここでは「ヶ所」をダブルクリックします。
- 5 [数量] を入力します。ここでは「1」を入力します。

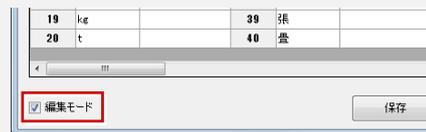
建具本体の明細

名称	仕様	数量	単位	見積単価	備考
木製 2枚引き違い戸		1	ヶ所	40,000	材工



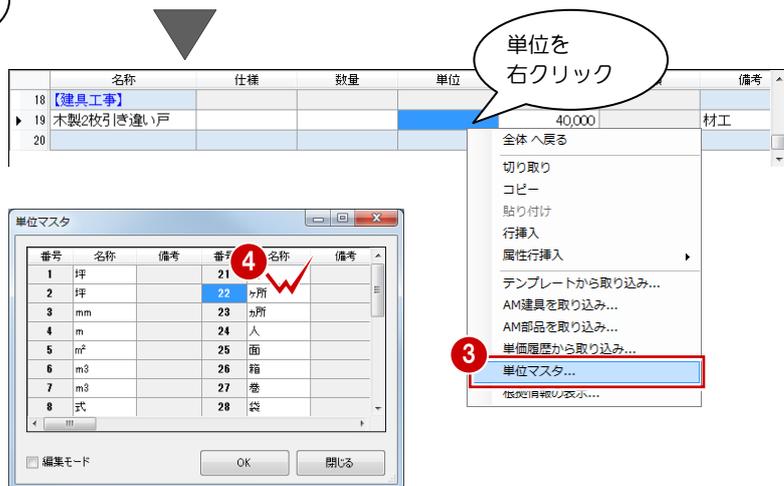
単位マスタを編集するには

単価マスタを編集するには、[編集モード] を ON にします。



単位マスタの保存先

[設定] メニューの [共通設定] で開く [設定 (フォルダ)] ダイアログの [共通設定] で指定されているフォルダに保存されます。



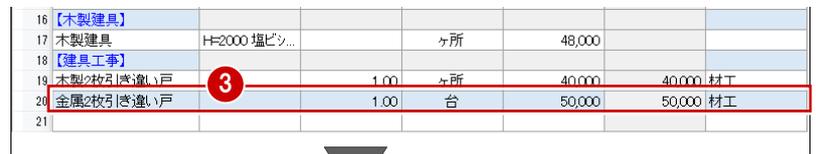
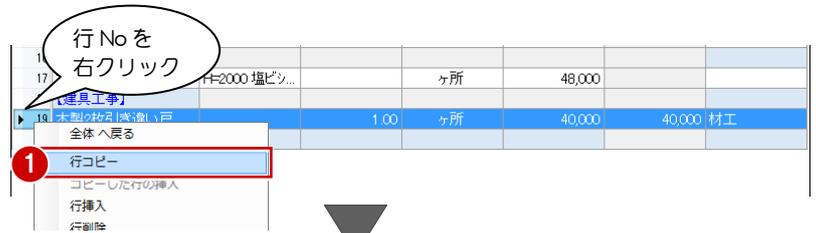
一 明細を複写する 一

追加した明細を複写して、右の明細を作成します。

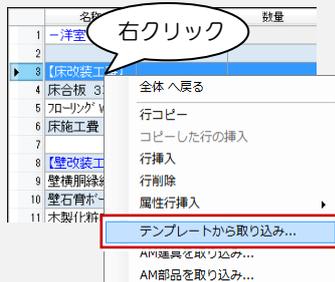
- 1 作成した明細の行を右クリックして [行コピー] を選びます。
- 2 挿入する行で、右クリックして [コピーした行の挿入] を選びます。
- 3 挿入した行の明細を編集します。
- 4 同様に、もう1つの明細を作成します。

建具本体の明細

名称	仕様	数量	単位	見積単価	備考
金属 2 枚引き違い戸		1	台	50,000	材工
金属 2 枚引き違い窓		1	台	45,000	材工



テンプレートから明細を取り込むには
右クリックして [テンプレートから取り込み] を使用すると、テンプレートから他の工事の明細を追加することができます。
⇒ 操作については、P.26 参照

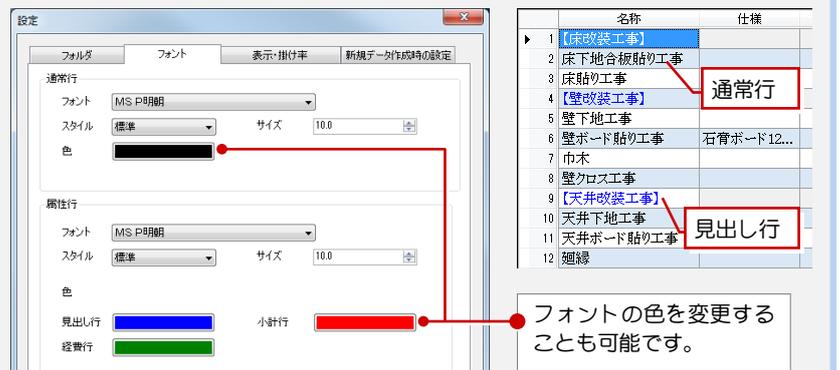


工事 (親項目) を追加するには
工事を追加するには、「全体」で親項目を挿入します。工事は、ツリーの 2 階層目に表示されます (階層は 2 階層まで)。
⇒ 操作については、P.25 参照



明細のフォント、サイズを変更するには

[共通設定 (フォント)] ダイアログでフォント、フォント色、サイズなどを変更できます。通常行 (明細の項目)、属性行 (見出し) ごとに設定できます。



2 見積を作成する (CAD データ連携なし)

不要な明細を削除する

ここでは、【鋼製建具】【木製建具】の明細を削除してみましょう。

- 1 明細を削除する行をすべて選択します。
行 No をドラッグすることで、連続した複数の行を選択できます。
- 2 右クリックして [行削除] を選びます。



元に戻す操作について

削除した行を元に戻すなど、リフォーム見積では操作を戻すことはできません。セルの編集も同様です。

数量を入力する

左のツリーから工事を選び、明細の [数量] を入力していきます。

- ※ 同じ数値を続けて入力する場合は、ショートカットキーのコピー (Ctrl+C) や貼り付け (Ctrl+V) も利用可能です。

見積金額		福井太郎邸改築工事		合計		163,603 円	
解体工事	1	【解体工事】					
	2	床解体工事	大引、根太、束	15.70	m ²	2,800	43,960 工
	3	床解体工事	下地合板	15.70	m ²	1,500	23,550 工
	4	壁解体工事		0.91	m	3,070	2,793 工
	5	壁解体工事	じゅうらく壁	28.60	m ²	1,500	42,900 工
	6	杉葺天井撤去工事	杉葺天井材	15.20	m ²	1,500	22,800 工
	7	畳撤去	畳一帖	8.00	帖	700	5,600 工
	8	畳撤去	畳半帖		帖	600	工
	9	【建具撤去】					
	10	アルミサッシ撤去		2.00	カ所	5,500	11,000 工
	11	木建具撤去		2.00	カ所	5,500	11,000 工
	12						

見積金額		福井太郎邸改築工事		合計		588,280 円	
内装工事	1	【床改築工事】					
	2	床下地合板貼り工事		15.70	m ²	2,300	36,110 材工
	3	床貼り工事	フローリング	15.70	m ²	7,000	109,900 材工
	4	【壁改築工事】					
	5	壁下地工事		28.60	m ²	3,800	108,680 材工
	6	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	28.60	m ²	1,500	42,900 材工
	7	巾木	化粧シート	12.40	m	550	6,820 材工
	8	壁クロス工事		28.60	m ²	1,400	40,040 材工
	9	【天井改築工事】					
	10	天井下地工事	野縁組	15.30	m ²	3,800	58,140 材工
	11	天井ボード貼り工事	石膏ボード9.5...	15.30	m ²	1,500	22,950 材工
	12	廻縁	化粧シート	15.80	m	400	6,320 材工
	13	天井クロス工事		15.30	m ²	1,400	21,420 材工
	14	【建具工事】					
	15	木製2枚引き違い戸		1.00	ヶ所	40,000	40,000 材工
	16	金属2枚引き違い戸		1.00	台	50,000	50,000 材工
	17	金属2枚引き違い窓		1.00	台	45,000	45,000 材工
	18						

見積金額		福井太郎邸改築工事		合計		12,560 円	
美装工事	1	美装フローリング	養生撤去、床...	15.70	m ²	800	12,560 材工
	2						

金額の丸め

[金額] は、数量×見積単価で算出され、[金額] の丸めは「切り捨て」固定です。

例えば、次の数量と見積単価の場合、 $9.77 \times 2,157 = 21,073.89$ となりますが、[金額] は「21,073」となります。

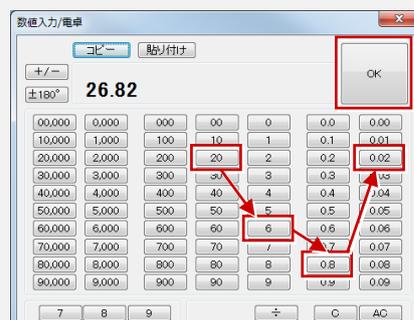
数量	単位	見積単価	金額
9.77	m ²	2,157	21,073

電卓を使う

[数量] [見積単価] [工事単価] では、電卓を使用して数値をセットできます。セルを選び、マウスの中ボタンを押します。

名称	仕様	数量
10	壁石膏ボード t12.5	26.82
11	木製化粧巾木 H60	12.46
12	壁施工費	26.82
13	A級クロス ビニルクロス(壁)	26.82
14	クロス張り	26.82

マウスの中ボタンを押す



単価を修正する

本書では、見積金額を基準にして実行予算の金額を調整します。

見積単価を修正しておきましょう。

※ 実行予算の調整は、P.16 で行います。

見積単価と工事単価の初期値

見積単価と工事単価の初期値は、テンプレートで明細ごとに設定します。
⇒ 単価の設定については、P.37 参照

名称	工事単価	見積単価	粗利率(%)
1 【床改装工事】			
2 床下地合板貼り工事	1,800	2,300	21.73
3 床貼り工事	5,400	7,000	22.85
4 床貼り工事	3,000	4,000	25.00
5 床貼り工事	3,600	4,800	25.00
6			

【テンプレート編集】

【見積単価】には、テンプレートに登録している単価がセットされています。

名称	数量	単位	見積単価	金額
1 【床改装工事】				
2 床下地合板貼り工事	15.70	m ²	2,300	36,110
3 床貼り工事	15.70	m ²	7,000	109,900
4 【壁改装工事】				
5 壁下地工事	28.60	m ²	3,800	108,680
6 壁ボード貼り工事	28.60	m ²	1,500	42,900
7 巾木	12.40	m	550	6,820
8 壁クロス工事	28.60	m ²	1,400	40,040
9 【天井改装工事】				
10 天井下地工事	15.30	m ²		58,140
11 天井ボード貼り工事	15.30	m ²		22,950
12 廻縁	15.80	m		6,320
13 天井クロス工事	15.30	m ²	1,400	21,420
14 【建具工事】				
15 木製2枚引き違い戸	1.00	ヶ所	40,000	40,000
16 金属2枚引き違い戸	1.00	台	50,000	50,000
17 金属2枚引き違い窓	1.00	台	45,000	45,000
18				

修正前

見積単価	金額
2,000	31,400
6,000	94,200
3,000	85,800
1,000	28,600
500	6,200
1,000	28,600
	58,140
	22,950
	6,320
1,400	21,420
	40,000
50,000	50,000
45,000	45,000

修正後

データを保存する

一旦、リフォーム見積のデータを保存しておきましょう。

- 1 プルダウンメニューから【ファイル】の【上書き保存】を選びます。
- 2 対象の工事が選ばれていることを確認します。
- 3 リフォーム見積データのファイルを入力して、【OK】をクリックします。

1

ファイル 設定 ウィンドウ ヘルプ

新規作成
ファイルを開く
テンプレートファイルの管理
上書き保存
名前を付けて保存
閉じる
見積情報

2

ファイル選択

お客様データフォルダ Data_Rmitu : C:\FcApp\ATManager\Data_Rmitu

福井太郎 福井太郎邸2次工事

名前 ▲ 更新日時

3

保存先ファイル名 リフォーム見積データ.rmc

OK 閉じる

WG ARCHITREND Manager

ファイル ツール 設定 ヘルプ

お客様の登録 工事の作成

ファイル管理

ARCHITREND Z ARCHITREND Z ARCHITREND Z ARCHITREND Z

開く 名前変更

名前 ▲

A-1建築確認
A-1建築確認
A-1新築工事関係
リフォーム見積データ.rmc

119 KB ARCHITREND Z.rla

工事に見積データが登録される

追加した明細をテンプレートに登録するには

本書のように、追加した建具の明細をテンプレートにも追加して、次回使用したい場合は、次のように操作します。

⇒ テンプレートの工事・部屋タイプについては、P.35 参照

1 行を選択して右クリック

2 再度右クリック

3 部屋タイプ

4 登録する工事 (部屋) を指定

5 登録する行を右クリック

Excel のセルのコピー・貼り付け機能 (Excel ⇔ リフォーム見積)

Excel で明細を作成している場合、リフォーム見積の明細にコピーすることができます。また、単価のみをコピーしたりすることもできます。

1 範囲を指定してコピー

2 貼り付け

3 はい(Y) いいえ(N)

※ Excel の項目順 (名称、仕様、数量など) が、リフォーム見積の項目順と一致している場合に限り、そのままセルをリフォーム見積へコピーすることができます。

※ ただし、数量 (数値) に単位 (文字列) を貼り付けるというように、貼り付け内容がテンプレートのセルの内容と異なる場合は、貼り付けできません。

項目

2-4 見積金額から実行予算を作成する

見積予算と実行予算を比較する

[実行予算] をクリックすると、画面下段に実行予算の明細が表示されます。

見積金額		実行予算		印刷	
見積金額 福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ 合計 518,630 円					
内装工事					
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1	【床改装工事】				
2	床下地合板貼り工事	15.70	m ²	2,000	31,400 材工
3	床貼り工事	70-リング	m ²	6,000	84,200 材工
4	【壁改装工事】				
5	壁下地工事	28.60	m ²	3,000	85,800 材工
6	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	m ²	1,000	28,600 材工
7	巾木	化粧シート	m	500	6,200 材工
8	壁クロス工事		m ²	1,000	28,600 材工

見積金額		実行予算		印刷	
見積金額の比較					
見積金額	799,011	実行予算	0	粗利率	799,011
粗利率				粗利率	100.00 %
見積金額 福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ					
全体					
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1	解体工事	1.00	式		163,603
2	内装工事	1.00	式		518,630
3	美装工事	1.00	式		12,560
4	【経費】				104,218
5					
実行予算 福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ					
内装工事					
名称	仕様	数量	単位	工事単価	金額
1	【床改装工事】				
2	床下地合板貼り工事		m ²	1,800	
3	床貼り工事	70-リング	m ²	5,400	
4	【壁改装工事】				
5	壁下地工事		m ²	2,900	
6	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	m ²	1,125	
7	巾木	化粧シート	m	400	
8	壁クロス工事		m ²	1,050	
9	【天井改装工事】				

見積金額と実行予算の総額を比較した表が表示されます。
(実行予算の [数量] が未入力であるため、金額が 0 円となっています)

次の計算結果が表示されます。
粗利率 = 見積金額 - 実行予算

次の計算結果が表示されます。
粗利率 = 粗利率 / 見積金額 × 100

ツリーで「全体」を選んでいる場合、[消費税 (税率)] [税込合計] が表示されます。

消費税について

消費税は、[設定] メニューの [共通設定] の [表示・掛け率] タブにある [消費税の表示] を OFF にします。

消費税率を変更するには、[ファイル] メニューの [見積情報] の [その他] タブにある [消費税率] で変更します。

なお、消費税率の初期値は、[共通設定] (新規データ作成時の設定) にある [消費税率] で設定します。共通設定の消費税率を変更しても、見積書には反映されません。

実行予算の明細には、見積金額で追加した「建具工事」の明細が登録されていない状態です。

実行予算の [工事単価] には、テンプレートに登録されている単価がセットされています。

見積金額で入力した [数量] は、実行予算の [数量] には反映されていない状態です。

見積金額の比較が赤字

粗利率が基準粗利率よりも低いとき、見積金額の比較が赤字で表示されます。基準粗利率は、[設定] メニューの [共通設定] の [表示・掛け率] タブにある [基準粗利率] で設定します。

見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
1,054,832	520,043	534,789	50.69 %

実行予算に明細が何も表示されない

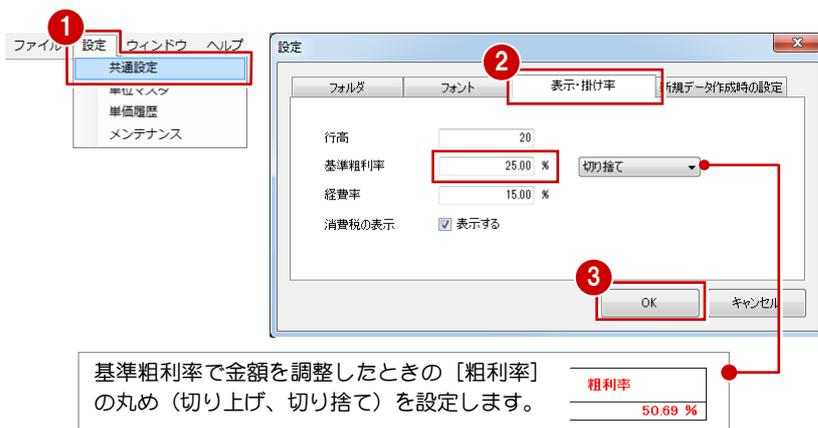
[設定] メニューの [共通設定] の [新規データ作成時の設定] タブにある [実行予算の初期連動] が OFF の場合、実行予算の明細が表示されません。

この場合は、[ファイル] メニューの [見積金額⇄実行予算 変換] で実行予算の明細を作成します (⇒ P.16 参照)。

粗利率で金額を調整する

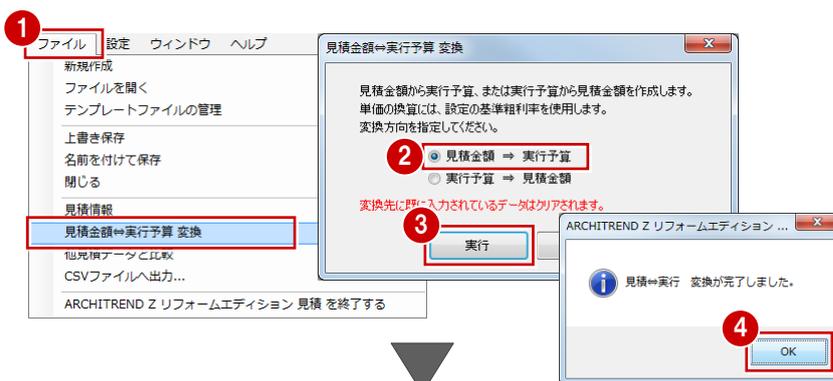
— 基準粗利率を変更する —

- 1 プルダウンメニューから [設定] の [共通設定] を選びます。
- 2 [表示・掛け率] タブの [基準粗利率] を変更します。
- 3 [OK] をクリックします。



— 基準粗利率で実行予算を調整する —

- 1 プルダウンメニューから [ファイル] の [見積金額⇔実行予算 変換] を選びます。
- 2 [見積金額 ⇒ 実行予算] が ON であることを確認します。
- 3 [実行] をクリックします。
- 4 確認画面で [OK] をクリックします。



指定した粗利率を満たすように実行予算が調整されます。

見積金額 ⇔ 実行予算の変換について

[見積金額 ⇒ 実行予算] が ON の場合、見積金額を基準にして、基準粗利率で実行予算の [工事単価] を調整します。

また、この変換では、明細項目、数量などの整合を取るため、見積金額の明細を、実行予算の明細に複写しています。そのため、見積金額で変更した [数量] が、実行予算の [数量] にも反映されます。

見積金額の比較	見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
全体の比較	799,011	599,256	199,755	25.00 %

見積金額							合計
福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ							518,630 円
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考	
11 天井ボード貼付工事	石膏ボード9.5...	15.30	㎡	1,500	22,950	材工	
12 廻縁	化粧シート	15.80	m	400	6,320	材工	
13 天井クロス工事		15.30	㎡	1,400	21,420	材工	
14 [建具工事]							
15 木製2枚引き違い戸		1.00	ヶ所	40,000	40,000	材工	
16 金属2枚引き違い戸		1.00	台	50,000	50,000	材工	
17 金属2枚引き違い窓		1.00	台	45,000	45,000	材工	

実行予算							合計
福井太郎邸改築工事							399,972 円
名称	仕様	数量	単位	工事単価	金額	備考	
11 天井ボード貼付工事	石膏ボード9.5...	15.30	㎡	1,125	17,212	材工	
12 廻縁	化粧シート	15.80	m	300	4,740	材工	
13 天井クロス工事		15.30	㎡	1,060	16,065	材工	
14 [建具工事]							
15 木製2枚引き違い戸		1.00	ヶ所	30,000	30,000	材工	
16 金属2枚引き違い戸		1.00	台	37,500	37,500	材工	
17 金属2枚引き違い窓		1.00	台	33,750	33,750	材工	

[ファイル] メニューの [見積金額⇔実行予算 変換] の操作における注意点

- 部位別明細を、工種別明細へ自動的に変換するものではありません。
- 変更先のデータはなくなります。[見積金額 ⇒ 実行予算] が ON の場合は、実行予算のデータがなくなります。実行予算側に明細を追加している場合は注意してください。
- 変換先のツリーや明細項目が、変換元のツリーや明細項目に変更されるため、編集終盤時の使用はお勧めできません。比較する帳票を編集する前に、金額の目安を確認、明細や数量の整合性を取るために使用し、見積金額と実行予算で明細の内容が異なるものにしたい場合は、[見積金額⇔実行予算 変換] を操作した後に編集してください。
- [実行予算] の明細に、各業者様から取り寄せた見積を「1 式」で入力するのも利用方法の 1 つです。

小計を挿入する

本書では、見積金額を基準に実行予算を調整するため、見積金額の明細に小計を追加します。

- 1 小計を挿入する行を選び、右クリックして [属性行挿入] の [小計行] を選びます。
- 2 同様に、工事ごとに小計行を挿入していきます。

金額の調整について

金額は、[ファイル] メニューの [見積金額⇄実行予算 変換] で調整しますが、金額の調整だけではなく、見積金額の明細を実行予算側に、または実行予算の明細を見積金額側の明細に複写して、明細の整合性を取ります。そのため、明細の編集は、調整の基準となる明細の方で行います。



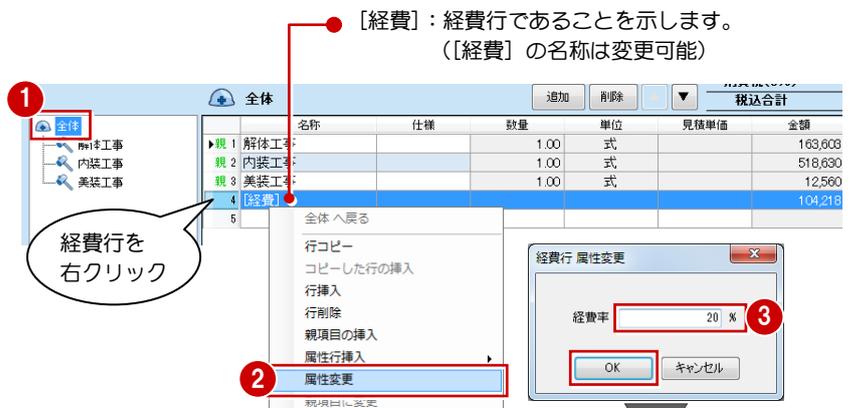
先頭から小計行前まで (No.1~No.3) までの合計が算出されます。

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1 [床改装工事]					
2 床下地合板貼り工事		15.70	m ²	2,000	31,400
3 床貼り工事	フローリング	15.70	m ²	6,000	94,200
4 [小計]					125,600
5 [壁改装工事]					
6 壁下地工事		28.60	m ²	3,000	85,800
7 壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	28.60	m ²	1,000	28,600
8 巾木	化粧シート	12.40	m	500	6,200
9 壁クロス工事		28.60	m ²	1,000	28,600
10 [小計]					149,200
11 [天井改装工事]					
12 天井下地工事		15.30	m ²	3,800	58,140
13 天井ボード貼り		15.30	m ²	1,500	22,950
14 廻縁		15.80	m	400	6,320
15 天井クロス工事		15.30	m ²	1,400	21,420
16 [小計]					108,830
17 [建具工事]					
18 木製2枚引き違い戸		1.00	ヶ所	40,000	40,000
19 金属2枚引き違い戸		1.00	台	50,000	50,000
20 金属2枚引き違い窓		1.00	台	45,000	45,000
21 [小計]					135,000
22					

経費行の掛け率を変更する

見積金額側の明細にある経費を変更します。

- 1 左側のツリーから「全体」を選びます。
- 2 経費行を右クリックして [属性変更] を選びます。
- 3 [経費率] を変更して、[OK] をクリックします。



経費行が作成されていない場合

右クリックして [属性行挿入] の [経費行] で追加します。

なお、[設定] メニューの [共通設定] の [新規データ作成時の設定] タブにある [全体に係る経費行を追加する] が OFF の場合、経費行は作成されません。ON のとき、見積の新規作成時に経費行が作成されます。

経費行の初期値

[設定] メニューの [共通設定] の [表示・掛け率] タブにある [経費率] で設定します。ただし、この [経費率] を変更しても見積書には反映されません。

値引きを追加するには

[追加]、または右クリックの [行挿入] を使用して通常の行を追加して、[見積単価] または [工事単価] にマイナス値を設定します。

見積金額		福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ				合計	
						823,751 円	
						消費税(5%)	41,187 円
						税込合計	864,938 円
						備考	
1	解体工事	1.00	式		163,603		
2	内装工事	1.00	式		518,630		
3	美装工事	1.00	式		12,560		
4	[経費]				138,958		
5	値引き	1.00	式		-10,000		

単価を修正する

見積単価を修正して、基準粗利率で実行予算を調整したい場合は、見積金額の単価を修正します。

- 1 [見積単価] セルを選んで、単価を修正します。

見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
833,751	599,256	234,495	28.12 %

福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ							合計
内装工事							518,630 円
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考	
1	【床改装工事】						
2	床下地合板貼り工事	15.70	m ²	2,000	31,400	材工	
3	床貼り工事	70-リング	m ²	6,000	94,200	材工	
4	【小計】				125,600		
5	【壁改装工事】						
6	壁下地工事	28.80	m ²	3,000	86,800	材工	
7	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	m ²	1,000	28,600	材工	
8	巾木	化粧シート	m	500	6,200	材工	
9	壁クロス工事	28.80	m ²	1,000	28,600	材工	

リアルタイムに変更後の見積金額、粗利率、粗利率を確認

見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
784,215	599,256	184,959	23.58 %

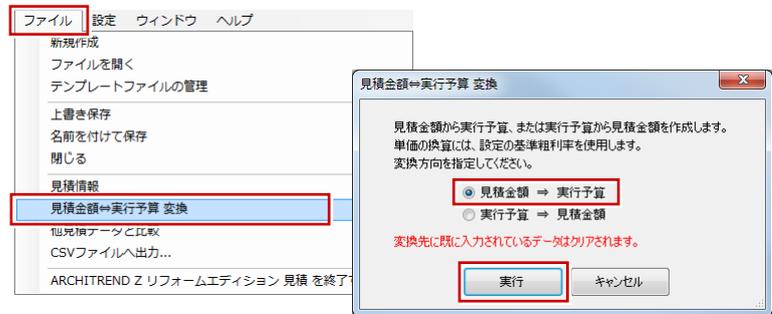
福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ							合計
内装工事							477,350 円
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考	
1	【床改装工事】						
2	床下地合板貼り工事	15.70	m ²	2,000	31,400	材工	
3	床貼り工事	70-リング	m ²	6,000	94,200	材工	
4	【小計】				125,600		
5	【壁改装工事】						
6	壁下地工事			2,000	57,200	材工	
7	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	m ²	800	22,880	材工	
8	巾木	化粧シート	m	400	4,960	材工	
9	壁クロス工事			800	22,880	材工	

見積単価を修正

編集した明細を実行予算に反映する

ここまでの操作では、[見積金額] と [実行予算] の明細は整合性が取れていない状態です。

小計の入力、経費率の変更、単価の修正を実行予算の明細に反映したい場合は、[ファイル] メニューの [見積金額⇔実行予算 変換] を実行します。



[実行予算] の明細について

例えば、各業者様から取り寄せた見積を [実行予算] の明細としている場合など、[見積金額] と [実行予算] の明細が異なっている場合は、[ファイル] メニューの [見積金額⇔実行予算 変換] は使用しないでください。

見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
784,215	588,159	196,056	25.00 %

福井太郎邸改築工事：リフォーム見積データ							合計
全体							784,215 円
消費税(5%)							39,210 円
税込合計							823,425 円
名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考	
1	解体工事	1.00	式		163,603		
2	内装工事	1.00	式		477,350		
3	美装工事	1.00	式		12,560		
4	【経費】				130,702		
5							

見積書・実行予算書を印刷する

- 1 [印刷] をクリックします。
- 2 [印刷設定] ダイアログで印刷する明細、用紙の向きなどを設定します。
- 3 [印刷プレビュー] をクリックします。
- 4 ページを切り替えて、表紙と明細を確認します。
- 5 [印刷] をクリックして、印刷します。
- 6 [印刷プレビュー] の [×] をクリックします。
- 7 [終了] をクリックします。

見積書について

- ・ 見積書の用紙サイズは、A4 固定です。
- ・ 明細のフォントは、「MS ゴシック」固定です。印刷には、[設定] メニューの [共通設定] の [フォント] タブの設定は反映されません。

表紙について

- ・ 表紙のデザインは固定です (変更不可)。
- ・ 表紙などに記載されるお客様などの情報は、[ファイル] メニューの [見積情報] の [見積情報] [備考] [自社情報] タブで設定します。



ページ調整

明細の行数により、次のように明細がない小計だけのページになる場合があります。このようなときは、手動で空行を削除、行を追加するなどして対応してください。



データを保存する

- 1 [ファイル] メニューから [上書き保存] を選びます。

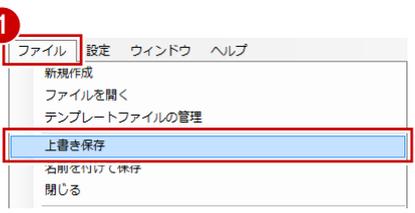
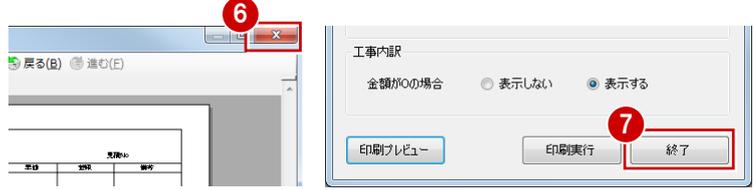
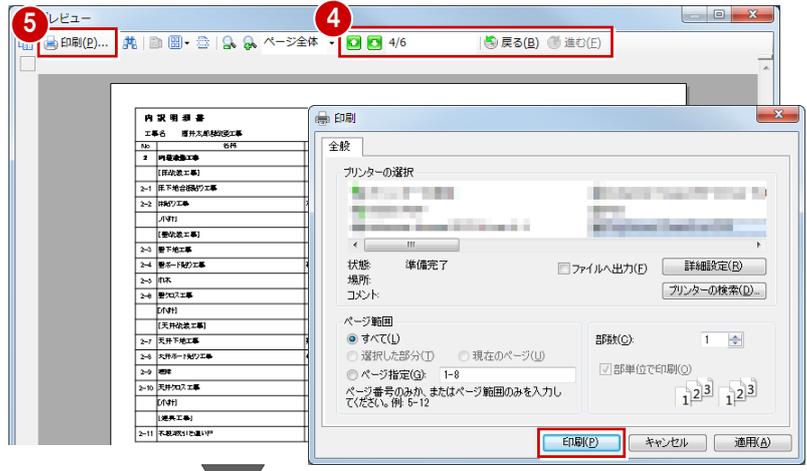


見積金額の明細を印刷する場合は [見積書] を ON、実行予算を印刷する場合は [実行予算書] を ON にします。

用紙の向きを設定します。

工事別 (ツリーの項目ごと) にページを切り替える場合は [工事別] を ON、用紙サイズから自動的に切り換える場合は [自動 (継続)] を ON にします。

[金額] が 0 円のとき、明細に「0」を表示する場合は [表示する] を ON、「0」を表示しない場合は [表示しない] を ON にします。



3

見積を作成する (CAD データ連携あり)

ここでは、リフォームエディションで入力した計画図のデータを使用して、見積を作成する流れを解説します。

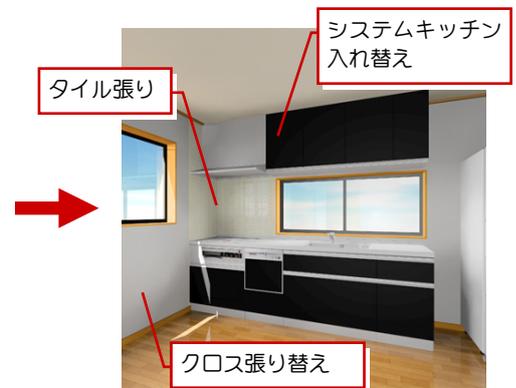
3-1 リフォーム例

工事概要

ここでは、壁仕上材の張り替え、システムキッチン入れ替え工事を例に、見積書の作成を解説します。



【リフォーム前】



【リフォーム後】

■ DK リフォーム工事：壁仕上材の張り替え、システムキッチン入れ替え

	リフォーム前	リフォーム後
壁	ビニールクロス A	ビニールクロス B 一部タイル
設備機器	システムキッチン A (間口 2400/クリーム)	システムキッチン B (間口 2550/ブラック)

3-2 リフォームエディションの間取り入力

計画図の間取りを入力する

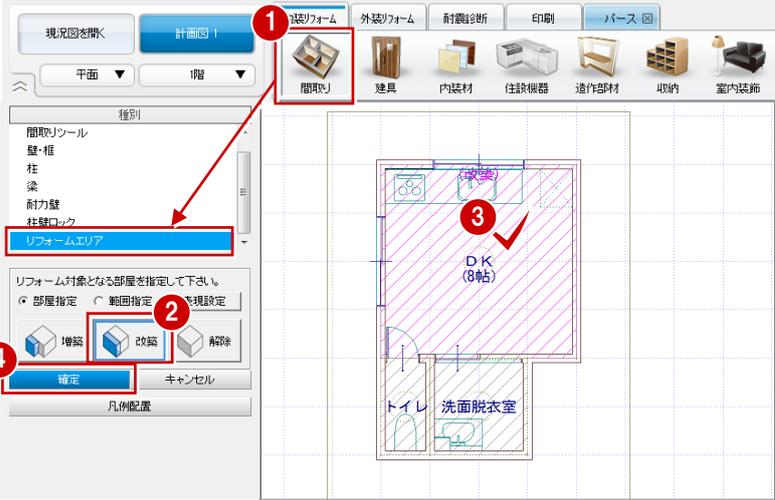
- ① 計画図の間取りを入力します。
- ② 内装の仕上を変更します。
- ③ 設備機器を変更します。

本書で使用している物件データ
 間取り、建具、住宅設備、壁仕上は、「リフォーム入門編」の計画図で作成した物件データと同様です。
 「リフォーム入門編」とはフローリング、廻縁、巾木の素材は異なりますが、「リフォーム入門編」の計画図データを使用して操作してもかまいません。



リフォームエリアを入力する

- ① [間取り] をクリックして、[リフォームエリア] を選びます。
- ② [改築] をクリックします。
- ③ リフォーム対象の部屋をクリックします。
- ④ [確定] をクリックします。



リフォームエリア
 リフォームエディションのデータを連携する場合、見積対象となる部屋にリフォームエリアを設定しておく必要があります。
 リフォームエリアに設定された部屋とテンプレートで関連付けされた工事内容の明細だけが上がってきます。また、リフォームエリアに設定された部屋の仕上や建具、住宅設備機器の数量を拾うことができます。
 ⇒ 部屋とテンプレートの関係については、「部屋の連携について」P.24 参照

屋根工事・外壁工事の場合
 外部の工事であるため、リフォームエリアの設定は不要ですが、屋根や外壁仕上などの数量の算出に必要なデータが作成されている必要があります。

3-3 見積データの新規作成

リフォーム見積を起動する

- 1 [図面の切り替え] から「見積」を選びます。



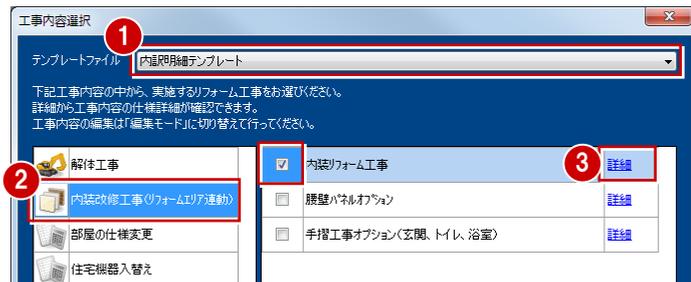
工事内容を選ぶ

テンプレートから工事内容、工事の明細を選びます。

- 1 [工事内容選択] ダイアログでテンプレートファイルを確認します。
- 2 [内装改修工事 (リフォームエリア連動)] を選び、[内装リフォーム工事] にチェックを付けます。
- 3 [詳細] をクリックします。
- 4 ここでは「食事室」を選びます。

⇒ 連携する部屋については、次ページの「部屋の連携について」を参照

- 5 [詳細表示] にチェックを付けて、数量や工事単価などを表示します。
- 6 確認したら、[閉じる] をクリックします。
- 7 [工事内容選択] ダイアログの [OK] をクリックします。



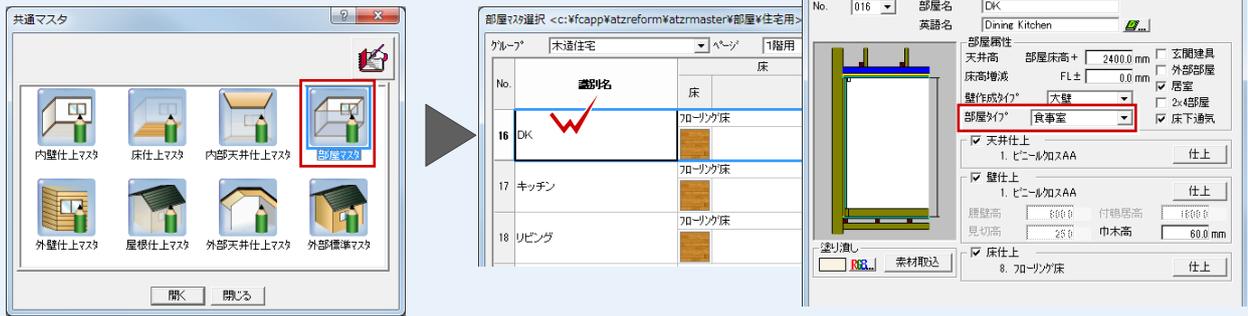
「内装リフォーム工事」の工事内容には、「食事室」以外にも「玄関」「台所」などがありますが、リフォームエリアに設定されていない部屋は取り込まれないため、これらの内容を確認する必要はありません。



リフォームエディションで配置されている部屋名で表示されます。

部屋の連携について

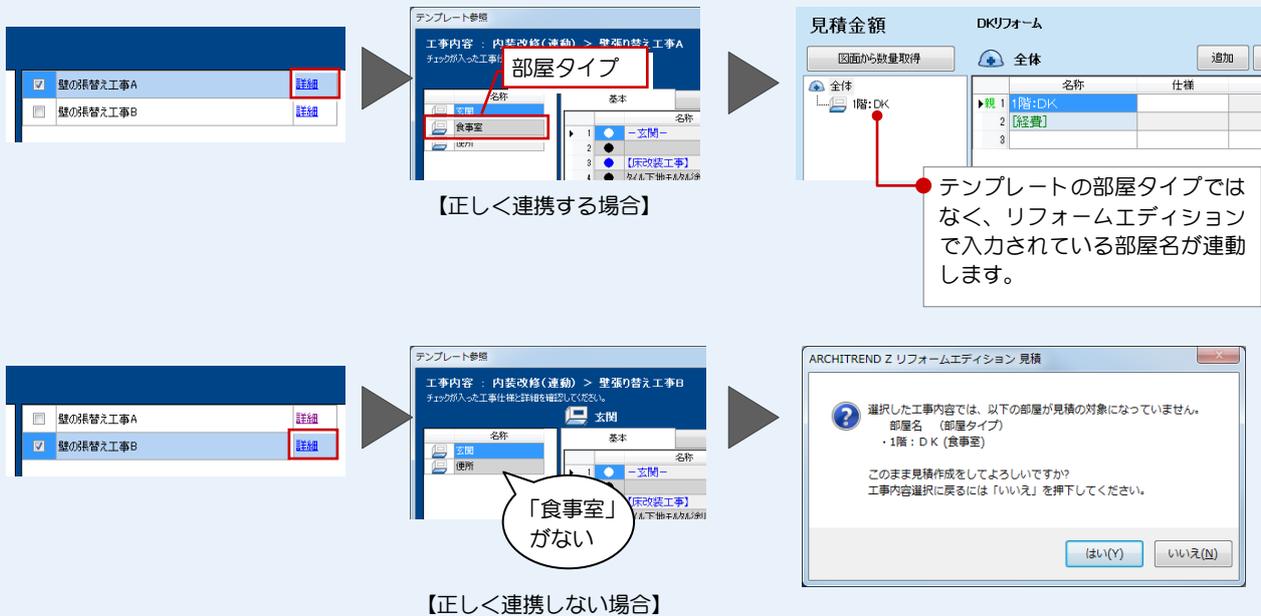
部屋の連携には、部屋マスタの部屋タイプが関係しています。



【リフォームエディションの部屋マスタ (DK)】

例えば、部屋名「DK」(部屋タイプ: 食事室) の場合、指定したテンプレートの工事内容に、該当する部屋 (食事室) の明細が割り当てられている必要があります。次図の「壁の張替え工事 B」のようにテンプレートの「食事室」の明細が割り当てられていない場合は連携できません。

⇒ 明細の割り当てについては、P.41 参照



■ リフォームエディションの部屋タイプとリフォーム見積の対応 (一部)

リフォームエディション		⇒	リフォーム見積	
部屋名称	部屋タイプ		テンプレートの部屋タイプ	ツリーに表示される名称
DK	食事室	⇒	食事室	DK
キッチン	台所	⇒	台所	キッチン
リビング	居間	⇒	居間	リビング
洋室 A	洋室	⇒	洋室	洋室 A

リフォームエリアから連携した明細を確認する

ここでは、リフォームエリアに設定された部屋の情報から連携した内容を確認してみましょう。

— 壁仕上などの明細を確認する —
壁クロス工事などの [数量] がセットされていることを確認します。

⇒ 数量の根拠、計算式については、P.28, 29 参照

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1 【床改装工事】					
2 床下地合板貼り工事		13.24	m ²	2,300	30,452
3 床貼り工事	70-リック	13.24	m ²	7,000	92,680
4 【壁改装工事】					
5 壁下地工事		26.82	m ²	3,800	101,816
6 壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	26.82	m ²	1,500	40,230
7 巾木	化粧シート	12.46	m	550	6,853
8 壁クロス工事		28.16	m ²	1,400	39,424
9 【天井改装工事】					
10 天井下地工事	野縁組	12.11	m ²	3,800	46,018
11 天井ボード貼り工事	石膏ボード9.5...	12.11	m ²	1,500	18,165
12 廻縁	化粧シート	13.92	m	400	5,568
13 天井クロス工事		12.71	m ²	1,400	17,794
14 【電気配線】					
15 スイッチ			ヶ所	4,700	
16 コセト			ヶ所	4,700	

● テンプレートで設定されている計算式から算出された値がセットされます。

— 建具・住宅設備の明細を確認する —
部屋に入力されている AM 建具の明細 (名称と数量) が [金属建具] [木建具] に追加、AM 部品の明細 (名称と数量) が [住宅設備機器] に追加されていることを確認します。

⇒ 建具・住宅設備の明細の連携については、P.40 参照

19	電話	2線		7,000	
20	既存	照明器具配線		4,200	
21	既存	照明器具		8,000	
22	【金属建具】				
23	w1650h800	1.00	台		
24	網戸取付	1.00	式	15,000	15,000
25	w1650h800	1.00	台		
26	網戸取付	1.00	式	15,000	15,000
27	【木建具】				
28	片引戸 Aタイプ	1.00	ヶ所		
29	単体トイレ用 Aタ	1.00	ヶ所		
30	【住宅設備機器】				
31	冷蔵庫2	1.00	式		
32	2550右シンク食洗機C2	1.00	式		
33					

● リフォームエディションで入力されている建具、テンプレートの [金属建具] [木建具] タブの項目が連携します。

● リフォームエディションで入力されている部品が連携します。

工事を追加する

「1階:DK」には、キッチン撤去などの解体工事の明細がないため、解体工事を作成して明細を追加します。

— 親項目を追加する —

- 1 「全体」を選びます。
- 2 行を右クリックして [親項目の挿入] を選びます。
- 3 [名称] をダブルクリックして、名称を変更します。

名称	仕様	数量	単位	見積単価
親 1 1階:DK		1.00	式	
親 2 既存補修工事		1.00	式	
親 3 美装工事		1.00	式	
4 解体工事				

挿入する行 No を右クリック

名称	仕様	数量	単位	見積単価
親 1 1階:DK		1.00	式	
親 2 既存補修工事		1.00	式	
親 3 美装工事		1.00	式	
親 4 解体工事		1.00	式	
5 [経費]				

工事が追加

親項目に変更する

先に明細を入力し、右クリックして [親項目に変更] でも親項目に変更することができます。

親 2 洋室改装工事				
親 3 美装工事				
4 解体工事				
5 [経費]				
6				

名称	仕様	数量	単位	見積単価
親 1 1階:DK			式	
親 2 既存補修			式	
親 3 美装工事			式	
親 4 解体工事			式	
5 [経費]				
6				

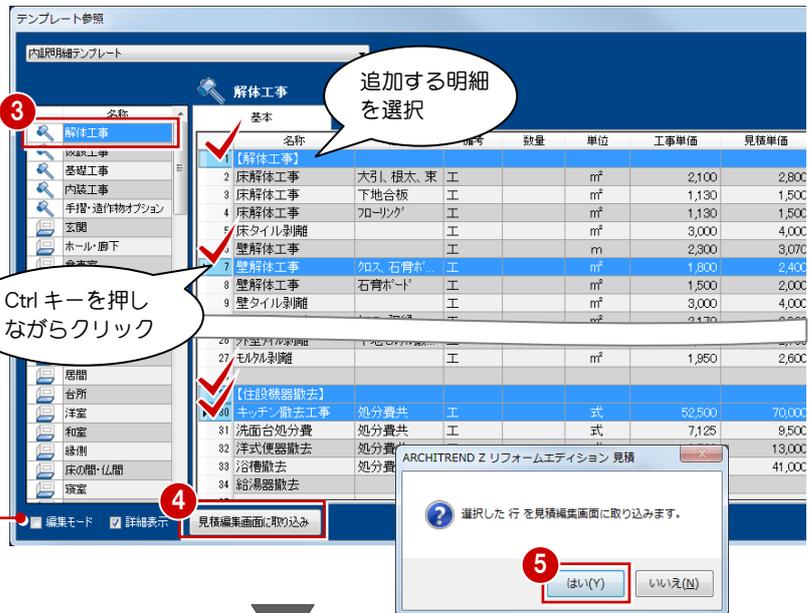
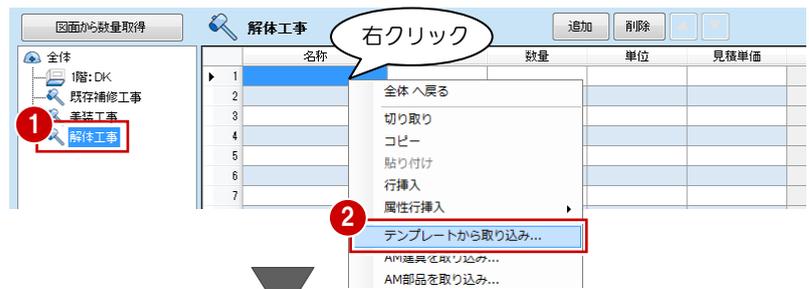
F2 キーでも編集可能

3 見積を作成する (CAD データ連携あり)

— テンプレートから明細を取り込む —

行を挿入して、明細を手入力していく方法もありますが、ここではテンプレートから複数の明細を取り込む方法を紹介します。

- ① ツリーから工事 (ここでは「解体工事」) を選びます。
- ② セルまたは行で右クリックして [テンプレートから取り込み] を選びます。
- ③ [テンプレート参照] ダイアログで取り込む工事 (または部屋) とその明細を選びます。
- ④ [見積編集画面に取り込み] をクリックします。
- ⑤ 確認画面で [はい] をクリックします。



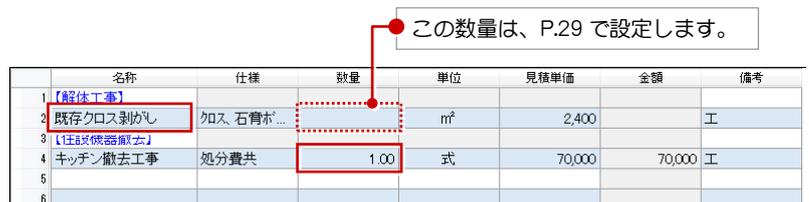
[編集モード] を ON にすることで、テンプレートの内容を編集できます。
⇒ テンプレートの編集については、P.34 参照



— 明細の名称・数量を編集する —

「壁解体工事」の名称を「既存クロス剥がし」に変更します。

次に、「キッチン撤去工事」の [数量] に「1」を入力します。



データを保存する

[ファイル] メニューの [上書き保存] で、リフォーム見積のデータを保存しておきましょう。

⇒ 操作については、P.13 参照



不要な明細を削除する

― 建具の明細を削除する ―

今回は建具の入れ替えはないため、リフォームエリアで連携した建具の明細を削除します。

- ① 削除する行をドラッグして、複数の行を選択します。
- ② 右クリックして「行削除」を選びます。



― その他不要な明細を削除する ―

その他にも、次の不要な明細を削除しておきましょう。

- ・【床改装工事】に関する明細
- ・【天井改装工事】に関する明細
- ・【電気配線】に関する明細
- ・「冷蔵庫 2」の明細



タイルなど明細を追加する

「1階:DK」に「タイル工事」「キッチン施工費」を追加してみましょう。

- ⇒ 明細のコピーについては、P.11 参照
- ⇒ 明細の追加については、P.10 参照

明細の編集について

見積金額（見積単価）を基準に、実行予算（工事単価）を調整する場合は、見積金額の明細の単価、数量などを編集していきます。
 逆に、実行予算（工事単価）を基準に見積金額（見積単価）を調整する場合は、実行予算の明細の単価、数量などを編集していきます。
 ⇒ 詳しくは、P.9、15、16 参照

- 「壁クロス工事」を行コピーして、名称、仕様、見積単価を変更します。
 ※「壁クロス工事」「タイル工事」の数量は、P.29 で変更します。

	名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1	【壁改装工事】						
2	壁下地工事		26.82	m ²	3,800	101,916	材工
3	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	26.82	m ²	1,500	40,230	材工
4	巾木	化粧シート	12.46	m	550	6,853	材工
5	壁クロス工事		28.16	m ²	1,400	39,424	材工
6	タイル工事		28.16	m ²	5,000	140,800	材工
7	【住宅設備機器】						
8	2550右シンク食洗有C2		1.00	式			
9	キッチン施工費		1.00	式	70,000	70,000	
10							

- 行を挿入して、名称、数量、単位、見積単価、備考を設定します。

仕上などの数量の根拠を確認する

連携時の数量や、テンプレートに登録されている各単価の初期値、換算率、丸めなどを確認します。

- 1 確認する明細を右クリックして [根拠情報の表示] を選びます。
- 2 確認する明細が選択された状態で表示されますので、明細の各項目を確認します。

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1 【壁改修工事】						
2 壁下地工事		26.82	m ²	3,800	101,816	材工
3 壁ボード貼り工事		26.82	m ²	1,500	40,230	材工
4 巾木		12.46	m	550	6,853	材工
5 壁クロス工事		28.16	m ²	1,400	39,424	材工
6 タイル工事			m ²	5,000	140,800	材工
7 【住宅設備機器】						
8 2550右シンク食洗			式			
9 キッチン施工費			式	70,000	70,000	手間
10						

右クリック
 全体へ戻る
 切り取り
 コピー
 行挿入
 属性行挿入
 テンプレートから取り込み...
 AM道具を取り込み...
 AM部品を取り込み...
 単価履歴から取り込み...
 根拠情報の表示...

「タイル工事」など追加、複写して作成した明細は、根拠情報を確認できません。

根拠情報には、テンプレートの内容が表示されるため、編集した明細とは異なります。

- 3 [数量根拠] をクリックします。
- 4 数量と、モニターでデータの入力箇所を確認します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

【計算式】にセットされている数量コード「HY00100」の数量が表示されます。
 ※【計算式】は「HY00100*1.05」となっているため、【数量】セルには、ここで表示されている数量(26.8258)×1.05の結果(28.16)がセットされています。

数量コードとは

数量コードとは、数量を集計するためのプログラム固有のコードのことで、計算に必要な最小単位に分けられています。

例えば、数量コードには「部屋面積」「部屋周長」などがあり、平面図の部屋領域データから

DKの部屋面積 : 13.2496 m²
 DKの部屋周長 : 14.5600m

というように、複数の数量コードの値が求められます。この数量コードを使って計算式を組むことで、数量を算出します。

⇒ 計算式については、P.37 参照

計算式に設定されている数量コードと数量を確認するには

[計算式]セルをダブルクリックします。なお、ここでは計算式を変更できません。

計算式	結果
HY00100+HY00110	26.82576
HY00100+HY00110	26.82576
HY00140	12.461
HY00100*1.05	28.167048

No.	数量コード	数量の名称	数量	単位
1	HY00010	部屋面積	13.249600	m ²
2	HY00020	部屋周長	14.560000	m
3	HY00100	壁面積(仕上)	26.825760	m ²
4	HY00110	腰壁面積(仕上)	0.000000	m ²
5	HY00120	腰壁長	0.000000	m
6	HY00130	巾木面積	0.835500	m ²

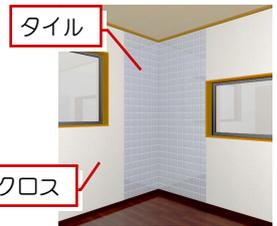
計算式: [文字] (壁面積(仕上))+【壁面積(仕上)】

数量を変更する

連携では、仕上の種類ごとに仕上データの数量を算出できませんが、数量コードを使用することで、クロス、タイルの領域ごとの数量をセットすることができます。
ここでは、壁クロス、タイルの数量を修正してみましょう。

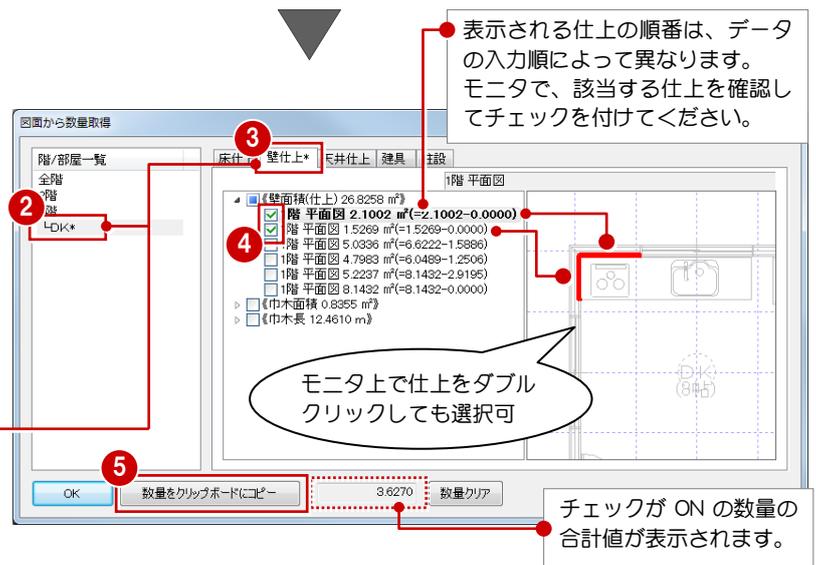
数量

名称	変更前の数量	変更後の数量
壁クロス工事	28.16	23.20
タイル工事	28.16	3.62



ー タイル工事の数量を変更する ー

- 1 [図面から数量取得] をクリックします。
- 2 ツリーで「DK」が選ばれていることを確認します。
- 3 [壁仕上] タブをクリックします。
- 4 [壁面積 (仕上)] において、タイル部分の壁面積のみにチェックを付けます。
- 5 [数量をクリップボードにコピー] をクリックして、右側に表示されている数量をコピーします。
- 6 変更する [数量] セルを右クリックして、[貼り付け] を選びます。



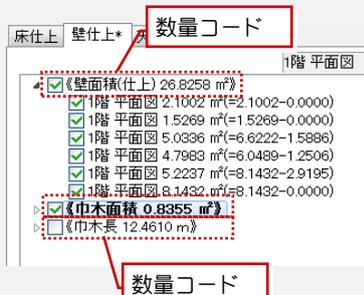
チェックが ON の項目があると、「※」が表示されます。

チェックが ON の数量の合計値が表示されます。

複数の数量コードを選ぶには

例えば、壁全体の面積の数量を、数量コード「壁面積 (仕上) (m²)」と「巾木面積 (m²)」の合計としたい場合があります。
このようなときは、Ctrl キーを押しながらチェックを ON にすると、複数選ぶことができます。

※ Ctrl キーなしでは、異なる数量コードのチェックを ON にすることはできません。



※ [図面から数量取得] ダイアログを開いた状態で操作できます。

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1	【壁改裝工事】				
2	壁下地工事	26.82	m ²	3,800	101,916
3	壁ボード貼り工事	26.82		1,500	40,230
4	巾木	12.46		550	6,853
5	壁クロス工事	28.16		1,400	39,424
6	タイル工事	28.16	m ²	5,000	140,800
7	【住宅設備機器】				

右クリック

名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額
1	【壁改裝工事】				
2	壁下地工事	26.82	m ²	3,800	101,916
3	壁ボード貼り工事	26.82		1,500	40,230
4	巾木	12.46		550	6,853
5	壁クロス工事	28.16		1,400	39,424
6	タイル工事	3.62	m ²	5,000	18,100
7	【住宅設備機器】				

数量が貼り付けられる

壁仕上面積の算出について

壁仕上面積は、建具面積を考慮したものになっています。次図の「-1.5886」などは建具の面積であることを示しています。

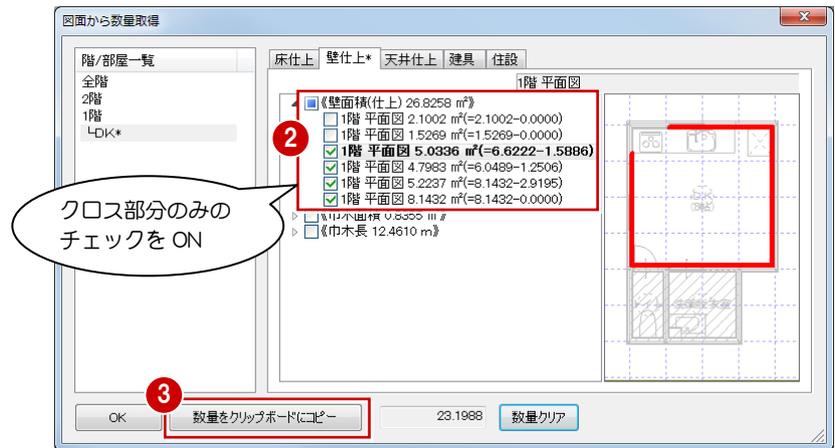
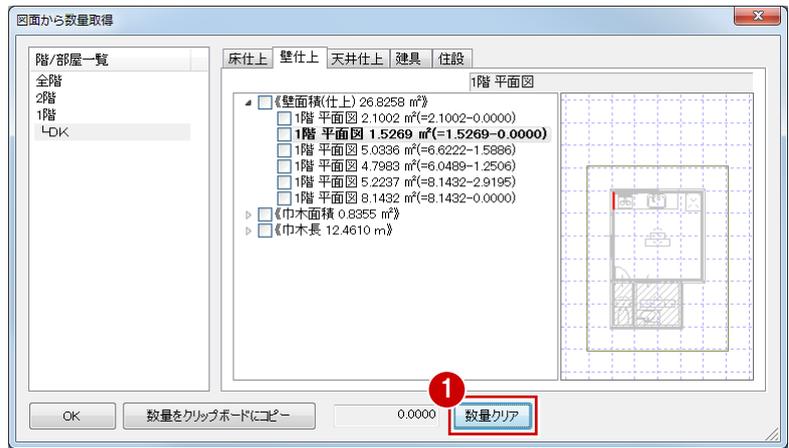
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 2.1002 m ² (=2.1002-0.0000)
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 1.5269 m ² (=1.5269-0.0000)
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 5.0336 m ² (=6.6222-1.5886)
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 4.7983 m ² (=6.0489-1.2506)
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 5.2237 m ² (=8.1432-2.9195)
<input checked="" type="checkbox"/>	1階 平面図 8.1432 m ² (=8.1432-0.0000)
<input type="checkbox"/>	【巾木面積 0.8355 m ² 】
<input type="checkbox"/>	【巾木長 12.4610 m】

単位m²の丸めは「実数」(小数点第2位で切り捨て)であるため、「3.62」となります。
※ 単位の丸めは、[設定]メニューの[単位マスタ]で確認できます。
⇒ 丸めについては、P.36 参照

3 見積を作成する (CAD データ連携あり)

— 壁クロス工事の数量を変更する —

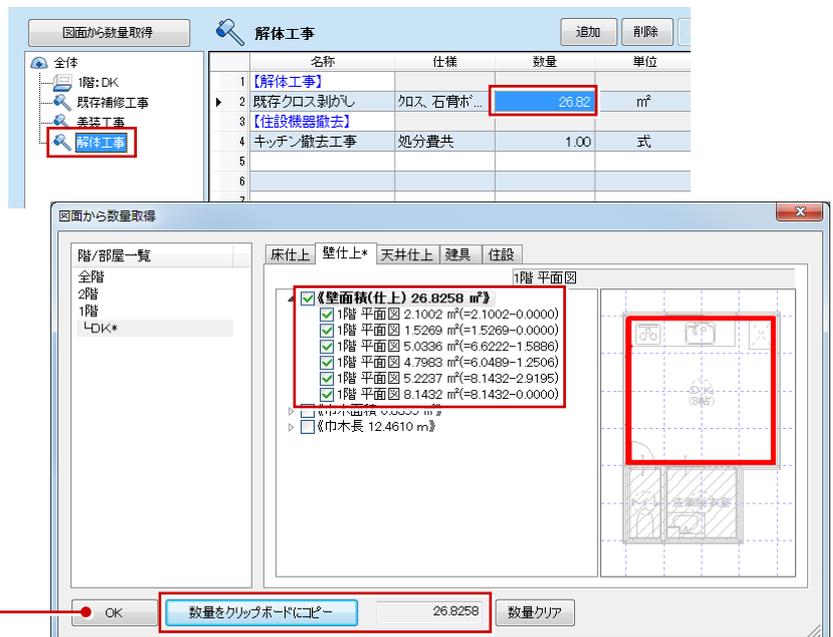
- ① 続けて、[図面から数量取得] ダイアログの [数量クリア] をクリックします。
- ② 壁クロス部分の面積のみにチェックを付けます。
- ③ [数量をクリップボードにコピー] をクリックします。
- ④ 「壁クロス工事」の [数量] に貼り付けます。



	名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1	【壁改装工事】						
2	壁下地工事		26.82	m ²	3,800	101,916	材工
3	壁ボード貼り工事	石膏ボード12.	26.82	m ²	1,500	40,230	材工
4	巾木		12.46	m	550	6,853	材工
5	壁クロス工事		23.19	m ²	1,400	32,466	材工
6	タイル工事		3.02	m ²	5,000	18,100	材工
7	【住宅設備機器】						

— クロス剥がしの数量を変更する —

同様に、「解体工事」にある「既存クロス剥がし」の数量に「壁面積 (仕上)」の数量をコピーします。



貼り付けたら、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

住宅設備の単価を登録する

リフォームエディションから連携した住宅設備の単価を入力して、この明細を単価履歴に登録します。

単価履歴に登録しておく、次回連携したとき、単価履歴に該当する住宅設備があると自動的に明細に単価がセットされます。

— 単価を入力する —

- 1 [実行予算] をクリックして、上下に見積金額と実行予算を並べます。
- 2 住宅設備の見積単価と工事単価を入力します。

単価の登録について

見積単価、工事単価のいずれかを設定しておく、単価履歴に登録されるため、見積単価だけを設定しておき、工事単価は以降の操作にある [設定] メニューの [単価履歴] で登録してもかまいません。

— 単価履歴に登録する —

プルダウンメニューから [ファイル] の [上書き保存] を選び、データを保存します。

- ※ リフォームエディションから連携した住宅設備の明細に単価が入力されていると、住宅設備の単価が単価履歴に登録されます。
- 次に、単価履歴を確認・編集します。

— 登録された単価履歴を確認する —

登録された単価履歴のアイテム、単価を確認します。

- 1 プルダウンメニューから [設定] の [単価履歴] を選びます。
 - 2 [住宅設備] タブをクリックします。
 - 3 単価を確認します。
ここで単価を修正してもかまいません。
 - 4 [閉じる] をクリックします。
- ※ 単価を修正した場合は、[履歴保存] をクリックします。

1 [実行予算] をクリックして、上下に見積金額と実行予算を並べます。

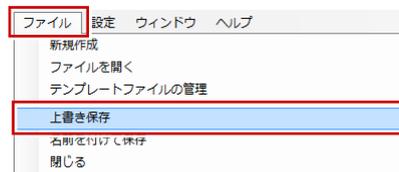
見積金額の比較	見積金額	実行予算	租利額
全体の比較	744,377	582,598	161,7

2 住宅設備の見積単価と工事単価を入力します。

名称	仕様	数量	単位	見積単価
2	壁下地工事	26.82	m ²	3,800
3	壁ボード貼り工事	26.82	m ²	1,500
4	巾木	12.46	m	550
5	壁クロス工事	23.19	m ²	1,400
6	タイル工事	3.62	m ²	5,000
7	[住宅設備機器]			
8	2550右シンク食洗有C2	1.00	式	200,000
9	キッチン施工費	1.00	式	70,000
10				

名称	仕様	数量	単位	工事単価
25	w1650f600	1.00	台	
26	網戸取付	1.00	式	10,000
27	[木建具]			
28	片引戸 Aタイプ	1.00	ヶ所	
29	単体ドアトイレ用 Aタ...	1.00	ヶ所	
30	[住宅設備機器]			
31	冷蔵庫2	1.00	式	
32	2550右シンク食洗有C2	1.00	式	150,000
33				

実行予算にも建具の明細が残っていますが、実行予算の金額調整と同時に、見積金額の明細と整合性を取るため、ここではこのままとしています。



1 [設定] の [単価履歴] を選びます。

2 [住宅設備] タブをクリックします。

3 単価を確認します。
ここで単価を修正してもかまいません。

4 [閉じる] をクリックします。

登録されている住宅設備の明細が表示されます。

明細で入力した単価がセットされます。単価が未入力の場合は、ここで入力してもかまいません。

連携していない住宅設備でも、部品を選んで単価を登録できます。

3 見積を作成する (CAD データ連携あり)

建具の単価履歴

リフォームエディションから連携した AM 建具の明細がある場合も同様です。
建具の単価も単価履歴に登録でき、[設定] メニューの [単価履歴] で確認、変更できます。



単価履歴の単価を更新する

単価履歴に登録後、明細で単価を変更すると、データの保存時に [単価履歴の保存] ダイアログが開きます。登録されている単価のままとするか、明細で変更された単価で登録しなおすかを指定します。

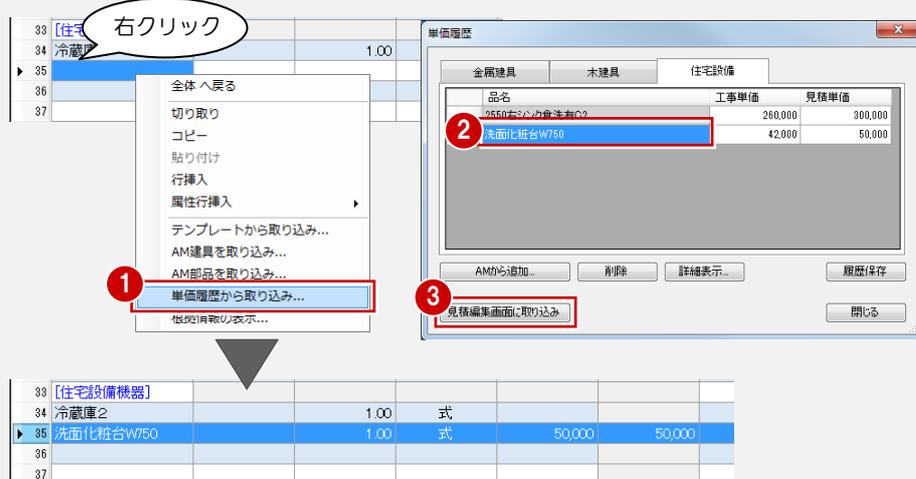
変更された住宅設備が複数ある場合は、次のように対象を切り替えて、それぞれ単価を指定し、[保存する] をクリックします。



単価履歴から建具・住宅設備の明細を取り込む

登録されている単価履歴を明細として使用することもできます。

セルで右クリックして [単価履歴から取り込み] から明細を追加できます。
※ 追加後、数量、単位などの設定が必要です。

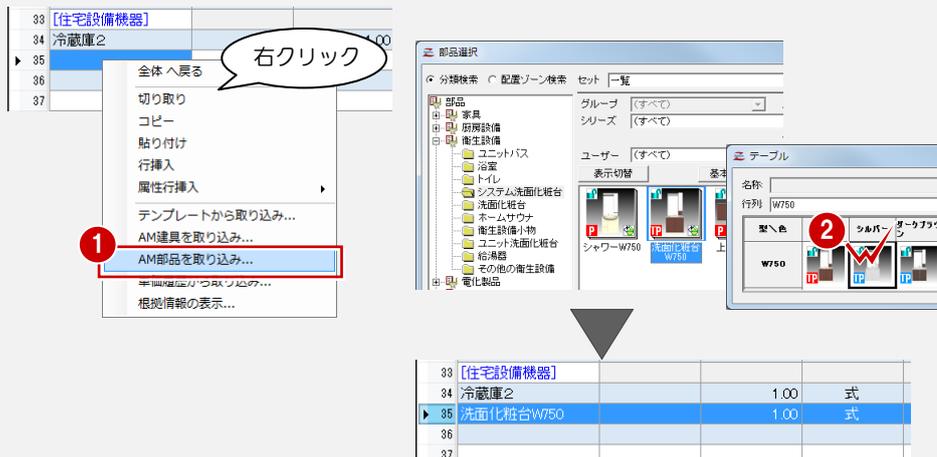


AM 建具・AM 部品から明細を取り込む

AM 建具・AM 部品のアイテムを選んで、明細を追加することもできます。

セルで右クリックして [AM 建具を取り込み] [AM 部品を取り込み] から明細を追加できます。

※ 右図は、AM 部品を取り込んだ操作です。



3-4 見積金額から実行予算を作成する

[実行予算] をクリックして画面下段に実行予算の明細を表示し、基準粗利率で実行予算を調整してみましょう。

⇒ 操作については、「2-4 見積金額から実行予算を作成する」P.15 参照

✓ 見積金額
✓ 実行予算
印刷

見積金額の比較	見積金額	実行予算	粗利率	粗利率
全体の比較	744,377	558,274	186,103	25.00 %

見積金額 DKリフォーム：DKリフォーム見積データ 合計 744,377 円

消費税(5%) 37,218 円

税込合計 781,595 円

画面から数量取得
全体
追加
削除

全体	名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
▶ 現	1階:DK		1.00	式		469,565	
現	2 既存補修工事		1.00	式		32,760	
現	3 美装工事		1.00	式		10,592	
現	4 解体工事		1.00	式		134,368	
6	[経費]					97,082	
6							

実行予算 DKリフォーム：DKリフォーム見積データ 合計 352,166 円

画面から数量取得
1階:DK
追加
削除

全体	名称	仕様	数量	単位	工事単価	金額	備考
▶	1 [壁改装工事]						
2	壁下地工事		26.82	m ²	2,850	76,437	材工
3	壁ボード貼り工事	石膏ボード12...	26.82	m ²	1,125	30,172	材工
4	巾木	化粧シート	12.46	m	412	5,133	材工
5	壁クロス工事		23.19	m ²	1,050	24,349	材工
6	タイル工事		3.62	m ²	3,750	13,575	材工
7	[小計]					149,666	
8	[住宅設備機器]						
9	2550右シンク食洗有C2		1.00	式	150,000	150,000	

4

テンプレートの編集

テンプレートの明細の編集方法、工事内容の割り付けについて解説します。

ここでは、次のテンプレートを例に、リフォームエディションと連携して使用するテンプレートの編集方法を紹介します。

4-1 テンプレート サンプル

■ 耐震補強工事の明細（食事室）

名称	仕様	備考	数量	単位	工事単価	見積単価	粗利率	計算式
【壁補強工事】								
既存壁撤去		手間		式	3,500	5,000	25.00	
壁下地工事	筋かい取付け	材工共		式	7,500	10,000	25.00	
壁石膏ボード貼り工事		材工共		m ²	2,400	3,000	20.00	HY00100
壁クロス工事		材工共		m ²	1,200	1,500	20.00	HY00100*1.2
巾木		材工共		m	560	700	20.00	HY00140

4-2 テンプレートの編集

テンプレートファイルを開く

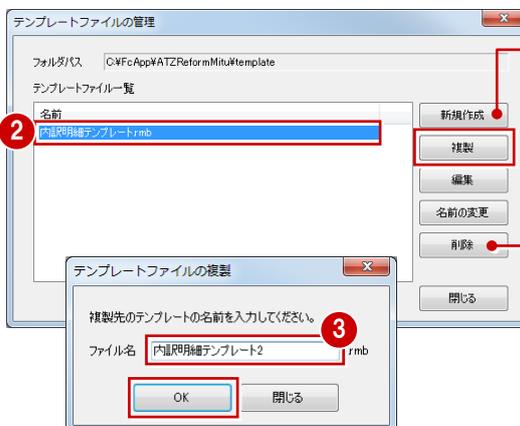
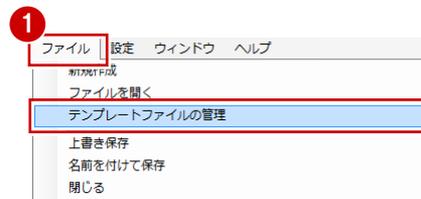
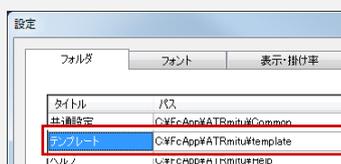
ー テンプレートを複写する ー

ここでは既存のテンプレートを複写してから編集してみましょう。

- 1 プルダウンメニューから [ファイル] の [テンプレートファイルの管理] を選びます。
- 2 編集するテンプレートを選び、[複製] をクリックします。
- 3 テンプレートのファイル名を入力して、[OK] をクリックします。

テンプレートの保存フォルダ

テンプレートは、[設定 (フォルダ)] ダイアログの [テンプレート] で設定されているフォルダに保存されます。



● テンプレートを一から作成します。

● テンプレートを削除します。

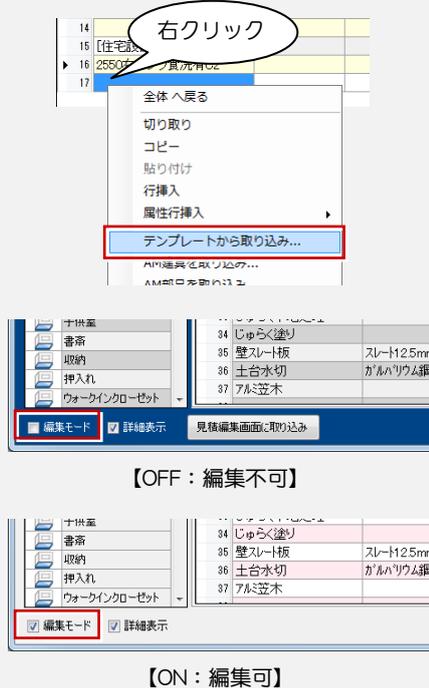
一 テンプレートを開く 一

- 1 編集するテンプレートを選び、[編集] をクリックします。
- 2 [テンプレートを編集する] をクリックします。



テンプレートの編集方法

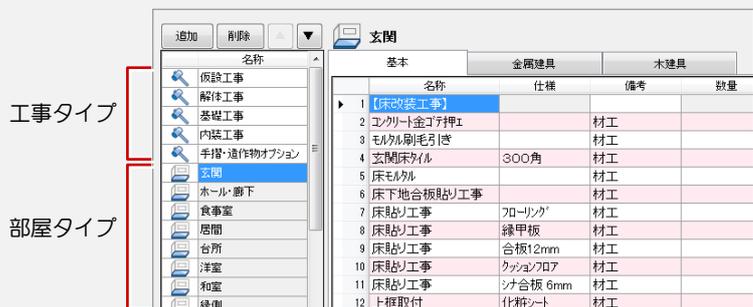
セルで右クリックして [テンプレートから取り込み] を選んで、[編集モード] を ON にすることで、テンプレートを編集できます。



工事タイプと部屋タイプの明細

リフォームエディションから連携して使用する場合と連携しない場合で、テンプレートの作成が異なります。

- 連携して使用する場合
部屋タイプを編集していきます。部屋タイプを使用すると、以下のことが可能です。
 - ・ リフォームエリアの部屋の建具、住宅設備の明細を自動的に作成できます。
 - ・ 出荷テンプレートの壁仕上などの明細には計算式がセットされていて、リフォームエリアに設定された部屋面積や壁面積を連携できます。
 - ・ 計算式を使用しなくても、図面データから仕上などの数量を取得できます。(連携する場合でも工事タイプの明細を使用することは可能)
- 連携せずに使用する場合
建具・設備、部屋面積などの連携はないため、主に工事タイプを使用して工事ごとの明細を編集していきます。(連携しない場合でも部屋タイプの明細を使用することは可能)



並び順を変更するには

工事タイプと部屋タイプの並び順が、見積のツリーでの並び順となります。例えば、「玄関」と「食卓」が連携したとき、「玄関」が上になります。また、部屋タイプを工事タイプの中に入れることはできません。



明細を追加するには

ここでは「食事室」に、壁補強に関する明細を追加してみましょう。

— 見出し行を追加する —

- ① 部屋タイプの「食事室」を選びます。
- ② 挿入する行を選び、右クリックして【属性行挿入】の【見出し行】を選びます。
- ③ [名称]セルをダブルクリックして、名称を変更します。

追加する明細

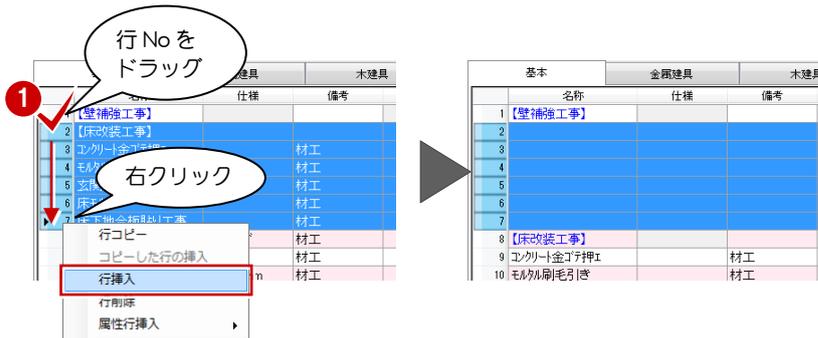
名称	仕様	備考	数量	単位
【壁補強工事】				
既存壁撤去		手間		式
壁下地工事	筋かい取付け	材工共		式
壁石膏ボード貼り工事		材工共		m ²
壁クロス工事		材工共		m ²
巾木		材工共		m

※ 壁クロス工事などの明細は【壁改装工事】にもあるため、仕様が同じ場合、登録は不要ですが、計算式などの登録方法の紹介のため、ここで追加しています。



— 明細を追加する —

- ① 挿入する行を複数選び、右クリックして【行挿入】を選びます。
- ② 明細の名称、仕様、備考を入力します。
- ③ [単位]を右クリックして、【単位マスタ】を選びます。
- ④ ここでは「式」をダブルクリックします。
- ⑤ 同様に残りの明細を作成します。



※ 工事単価、見積単価については、次ページで設定します。



数量の丸めには、次の4つがあります。

- ・ 実数 : 小数点第2位で切り捨て
- ・ 切り上げ : 小数点以下を切り上げ
- ・ 切り捨て : 小数点以下を切り捨て
- ・ 0.5単位 : 0.5単位で切り上げ



名称	仕様	備考	数量	単位	工事単価	見積単価	粗利率(%)	計算式	換算率	丸め
【壁補強工事】										
既存壁撤去		手間		式					÷ 1.0000	切り上げ
壁下地工事	筋かい取付け	材工共		式					÷ 1.0000	切り上げ
壁石膏ボード貼り工...		材工共		m ²					÷ 1.0000	実数
壁クロス工事		材工共		m ²					÷ 1.0000	実数
巾木		材工共		m ²					÷ 1.0000	実数
									÷ 1.0000	実数

単価を設定するには

明細ごとの見積単価と粗利率を決めて、工事単価を算出してみましょう。

- 1 [基準単価] で [見積単価] が ON であることを確認します。
- 2 [見積単価] を入力します。
- 3 [粗利率] を入力します。

基準単価について

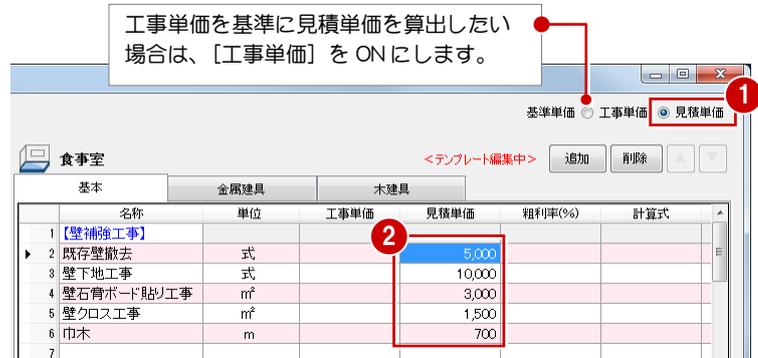
基準とする単価を決めて、粗利率を変更することで、以下のように単価を算出します。

[工事単価] が ON の場合、次式で算出されます。
 $\text{見積単価} = \text{工事単価} / (1 - \text{粗利率})$

[見積単価] が ON の場合、次式で算出されます。
 $\text{工事単価} = \text{見積単価} \times (1 - \text{粗利率})$

追加する明細

名称	工事単価	見積単価	粗利率 (%)
【壁補強工事】			
既存壁撤去		5,000	25
壁下地工事		10,000	25
壁石膏ボード貼り工事		3,000	20
壁クロス工事		1,500	20
巾木		700	20



計算式を登録するには

リフォームエディションから連携したときに、CAD データから壁クロスなどの数量を連携できるように、計算式に数量コードを設定してみましょう。

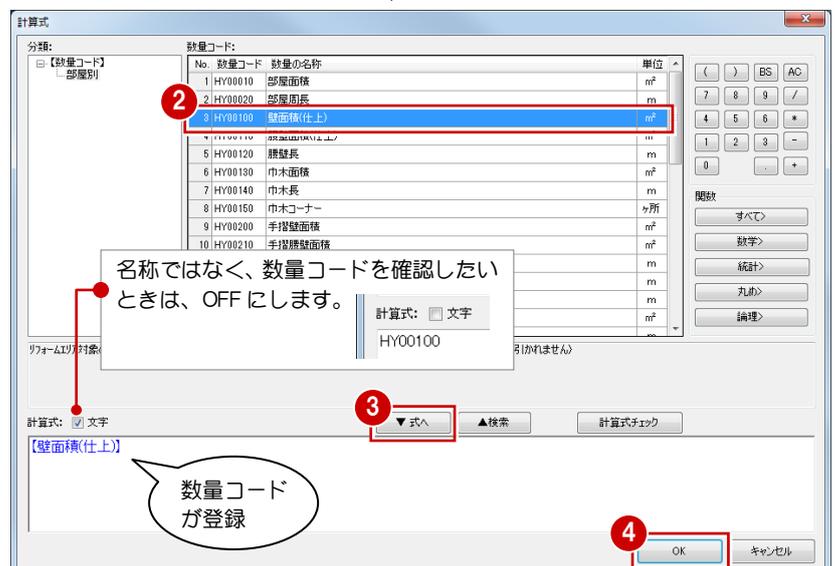
— 壁面積の計算式をセットする —

- 1 「壁石膏ボード貼り工事」の [計算式] のセルをダブルクリックします。
- 2 数量コード一覧から「壁面積 (仕上)」を選びます。
- 3 [▼式へ] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。

数量コードの種類

数量コードには、部屋タイプ専用と工事タイプ専用があります。
 部屋タイプでは、工事タイプ専用の数量コードを使用することができません。

基本	金属建具	木建具			
名称	単位	工事単価	見積単価	粗利率 (%)	計算式
1 【壁補強工事】					
2 既存壁撤去	式	3,750	5,000	25.00	
3 壁下地工事	式	7,500	10,000	25.00	
4 壁石膏ボード貼り工事	㎡	2,400	3,000	20.00	
5 壁クロス工事	㎡	1,200	1,500	20.00	
6 巾木	m	560	700	20.00	



4 テンプレートの編集

一 数量を多めに拾いたい場合

「壁クロス工事」の計算式は、「壁石膏ボード貼り工事」と同じですが、数量を多めに拾いたい場合は、次のようにセットします。

- 1 「壁クロス工事」の「計算式」のセルをダブルクリックします。
- 2 数量コード一覧から「壁面積（仕上）」を選びます。
- 3 [▼式へ] をクリックします。
- 4 順に [*] [1] [.] [2] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックします。

名称	単位	工事単価	見積単価	粗利率(%)	計算式
1 【壁補強工事】					
2 既存壁撤去	式	3,750	5,000	25.00	
3 壁下地工事	式	7,500	10,000	25.00	
4 壁石膏ボード貼り工事	m ²	2,400	3,000	20.00	HY00100
5 壁クロス工事	m ²	1,200	1,500	20.00	
6 巾木	m	560	700	20.00	

一 巾木の計算式をセットする

同様に、「巾木」の計算式をセットします。

名称	単位	工事単価	見積単価	粗利率(%)	計算式
1 【壁補強工事】					
2 既存壁撤去	式	3,750	5,000	25.00	
3 壁下地工事	式	7,500	10,000	25.00	
4 壁石膏ボード貼り工事	m ²	2,400	3,000	20.00	HY00100
5 壁クロス工事	m ²	1,200	1,500	20.00	HY00100*1.2
6 巾木	m	560	700	20.00	HY00140
7					

「巾木」に、数量コード「HY00140：巾木長」をセットします。

No.	数量コード	数量の名称	単位
6	HY00130	巾木面積	m ²
7	HY00140	巾木長	m
8	HY00150	巾木コーナー	ヶ所

数量と計算式

「数量」セルに値を設定し、かつ計算式も設定されている場合、「数量」セルには計算式による値が優先されます。

計算式を削除するには

「計算式」で、削除する数量コードにカーソルを置いて [BS] をクリック、または Backspace キー、Delete キーを押します。
[AC] をクリックすると、計算式がクリアされます。

リフォームエディションを使用しない場合

計算式を登録する必要はありません。「数量」セルを未入力、もしくは適当な値を入力しておきます。
リフォームエディションを使用せずに、計算式が登録された明細を使用した場合、計算結果は「0」となります。連携後、手動で「数量」を修正してください。

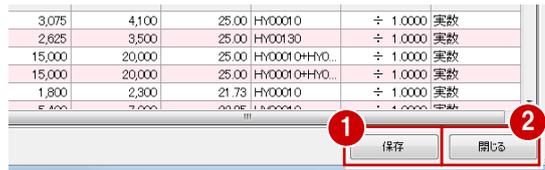
工事タイプの計算式

工事タイプの明細で設定する計算式では、物件情報、階別、全階の数量コードを使用できます。

テンプレートを保存する

- 1 編集を終えたら、[保存] をクリックします。
- 2 [閉じる] をクリックします。

3,075	4,100	25.00	HY00010	÷ 1.0000	実数
2,625	3,500	25.00	HY00130	÷ 1.0000	実数
15,000	20,000	25.00	HY00010+HY0...	÷ 1.0000	実数
15,000	20,000	25.00	HY00010+HY0...	÷ 1.0000	実数
1,800	2,300	21.73	HY00010	÷ 1.0000	実数
5,400	7,000	20.00	HY00100M1 2	÷ 1.0000	実数



m²から枚数に換算して数量を算出するには

石膏ボードの枚数は、壁面積 (m²) をボードの1枚当たりの面積 (m²) で換算することで算出することができます。計算式では、壁面積など単位が「m²」のものを設定しておき、単位を「枚」(換算率が設定されたもの) に変更します。

名称	単位	工事単	粗利率(%)	計算式	換算率	丸め
1 【壁補強工事】						
2 既存壁撤去	式		25.00		÷ 1.0000	切り上げ
3 壁下地工事	式		25.00		÷ 1.0000	実数
4 壁石膏ボード貼り工事	m ²		20.00	HY00100	÷ 1.0000	実数
5 壁クロス工事	m ²		20.00	HY00100M1 2	÷ 1.0000	実数

名称	仕様	数量	単位
1 【壁補強工事】			
2 既存壁撤去			式
3 壁下地工事	筋かい取付け		式
4 壁石膏ボード貼り工事		26.82	m ²
5 壁クロス工事		32.19	m ²

【面積 (m²) での算出】

名称	単位	工事単	粗利率(%)	計算式	換算率	丸め
1 【壁補強工事】						
2 既存壁撤去	式		25.00		÷ 1.0000	切り上げ
3 壁下地工事	式		25.00		÷ 1.0000	実数
4 壁石膏ボード貼り工事	枚		20.00	HY00100	÷ 1.6562	切り上げ
5 壁クロス工事	m ²		20.00	HY00100M1 2	÷ 1.0000	実数

名称	仕様	数量	単位
1 【壁補強工事】			
2 既存壁撤去			式
3 壁下地工事	筋かい取付け		式
4 壁石膏ボード貼り工事		17.00	枚
5 壁クロス工事		32.19	m ²

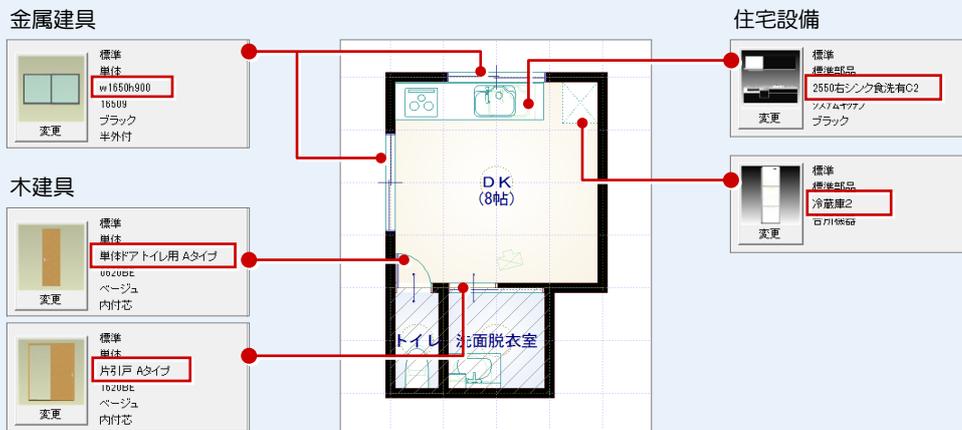
【枚数での算出】

番号	名称	丸め	換算率	備考
9	セト	切り上げ	÷ 1.0000	
10	梱包	切り上げ	÷ 1.0000	
11	枚	切り上げ	÷ 1.0000	
12	枚	切り上げ	÷ 1.6562	
13	枚	切り上げ	÷ 2.4943	
14	枚	切り上げ	÷ 0.8281	

建具・住宅設備の明細について

リフォームエディションから連携する場合は、部屋タイプを使用すると、リフォームエリアの部屋（DK）に入力されている建具、住宅設備の品名が、自動的に明細として登録されるため、テンプレートへの登録は不要です。

※ 一方、連携しない場合は、工事タイプを使用して、「壁クロス工事」などと同様に、建具本体、住宅設備の明細を作成する必要があります。



20	既存照明器具配線			ヶ所	4,200
21	ダウンライト照明器具			ヶ所	9,000
22	[金属建具]				
23	w1850h900	1.00	台		40,000
24	網戸取付	1.00	式		15,000
25	w1850h900	1.00	台		40,000
26	網戸取付	1.00	式		15,000
27	[木建具]				
28	片引戸 Aタイプ	1.00	ヶ所		30,000
29	単体ドアトイレ用 Aタイプ	1.00	ヶ所		25,000
30	[住宅設備機器]				
31	冷蔵庫2	1.00	式		
32	2550右シンク食洗有C2	1.00	式		200,000
33					

見出しの名称と数量の単位は、[設定]メニューの[共通設定]の[新規データ作成時の設定]タブで設定します。

フォルダ	フロント	表示:掛け率	新規データ作成時の設定
<input checked="" type="checkbox"/>	実行予定の初期運動		
<input checked="" type="checkbox"/>	全体に係る経費行を追加する		
金属建具	見出し行テキスト		単位
木建具	[金属建具]		ヶ所
住宅設備機器	[住宅設備機器]		式

部屋タイプの明細には、「金属建具」「木建具」「住宅設備機器」（灰色のセル：変更不可）の項目があり、これにより自動的に以下の明細が作成されます。

- ・ リフォームエディションの部屋に配置されている金属建具、木建具、住宅設備機器の明細
- ・ [金属建具][木建具] タブにある建具の付属品などの明細
（[金属建具][木建具] タブでは、計算式は設定できません）

例えば、金属建具が2つ配置されている場合、[金属建具]タブにある明細が、建具の数だけ作成されます。

22	[金属建具]				
23	w1850h900	1.00			
24	網戸取付	1.00			
25	w1850h900	1.00			
26	網戸取付	1.00			
27	[木建具]				
28	片引戸 Aタイプ	1.00			
29	単体ドアトイレ用 Aタイプ	1.00			

● 部屋タイプの工事

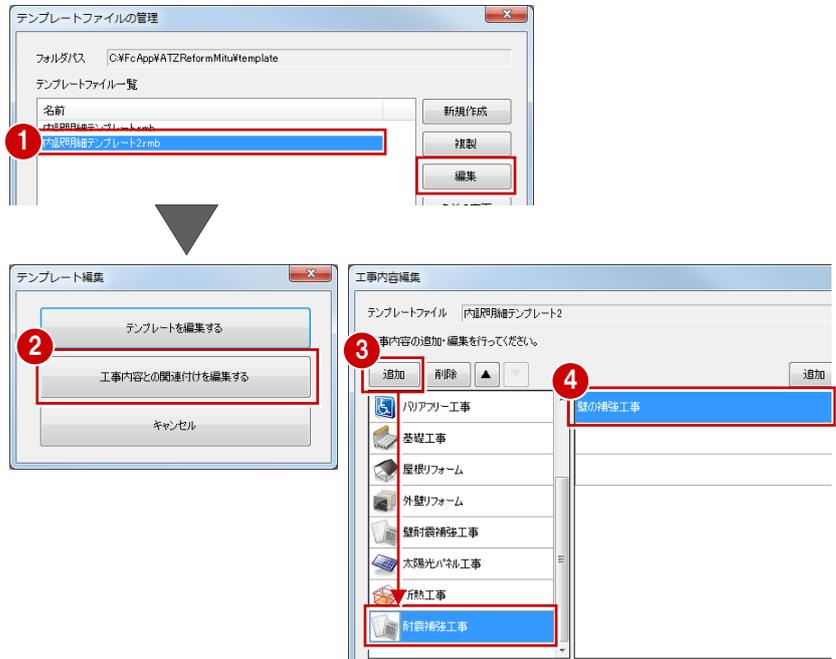
4-3 テンプレートと工事内容の関連付け

見積データの新規作成時は、工事内容を選んで、工事にあった見積を作成します。

ここでは、新しく登録したテンプレートの「壁補強工事」の明細を作成できるように、工事内容を追加して該当する明細を割り当てます。

工事内容を追加する

- 1 [テンプレートファイルの管理] ダイアログで編集するテンプレートを選び、[編集] をクリックします。
- 2 [工事内容との関連付けを編集する] をクリックします。
- 3 左上の [追加] をクリックして、工事を登録します。
- 4 工事内容を登録します。



テンプレートを割り当てる

耐震補強工事に使用する明細だけを指定します。

- 1 編集する工事内容の右にある [詳細] をクリックします。
- 2 [全て表示] にチェックを付け、テンプレートの内容を全て表示します。
- 3 「食事室」を選びます。
- 4 壁の補強工事の明細に登録する項目にチェックを付けます。
- 5 [閉じる] をクリックします。
- 6 [保存] をクリックします。



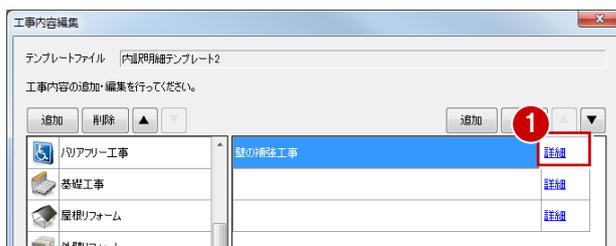
チェックのON/OFFを一括変更するには、チェックをONにする行をすべて選択し、右クリックして [チェック ON] を選びます。OFFにする場合は、[チェック OFF] を選びます。

名称	仕様
1	【壁補強工事】
2	既存壁撤去
3	行コピー
4	コピーした行の挿入
5	行挿入
6	行削除
7	属性行挿入
8	単位マスタ
9	下地
10	下地
	チェックON
	チェックOFF
	工事内容との関連付けを確認

4 テンプレートの編集

関連付けを確認する

- 1 「詳細」 をクリックして、工事内容の明細を確認します。



関連する明細を変更するには

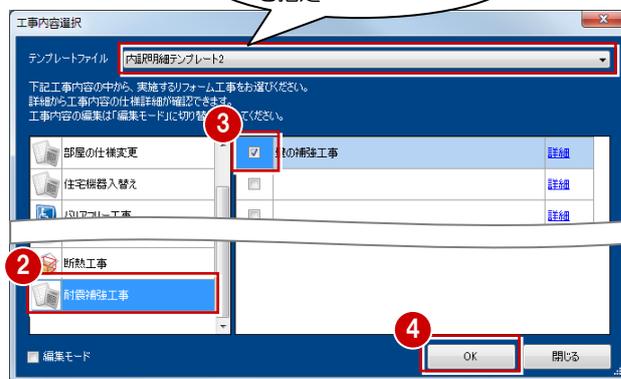
チェックを付けた項目だけが表示されます。項目が不足している場合は、[全て表示] を ON にして、全ての項目を表示し、必要な項目のチェックを ON にします。また、不要な項目がある場合は、チェックを OFF にして保存します。



「食事室」に登録されている明細のうち、「壁補強工事」でチェックを付けた項目だけが表示されます。

テンプレートを使用する

編集したテンプレートを使用して、リフォームエディションからの連携を確認してみましょう。



名称	仕様	数量	単位	見積単価	金額	備考
1	<input checked="" type="checkbox"/> 壁補強工事					
2	<input checked="" type="checkbox"/> 既存壁撤去		式	5,000		手間
3	<input checked="" type="checkbox"/> 壁下地工事		式	10,000		材工共
4	<input checked="" type="checkbox"/> 壁石膏ボード貼り工事	26.82	m ²	3,000	80,460	材工共
5	<input checked="" type="checkbox"/> 壁クロス工事	32.19	m ²	1,500	48,285	材工共
6	<input checked="" type="checkbox"/> 巾木	12.46	m	700	8,722	材工共
7						
8	<input checked="" type="checkbox"/> 金属建具					
9	w1650H800	1.00	台	40,000	40,000	
10	w1650H800	1.00	台	40,000	40,000	
11	<input checked="" type="checkbox"/> 木建具					
12	片引戸 Aタイプ	1.00	ヶ所	30,000	30,000	
13	単体ドアトイレ用 Aタイプ	1.00	ヶ所	25,000	25,000	
14	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅設備機器					
15	冷蔵庫2	1.00	式			
16	2550右シンク食洗有C2	1.00	式	200,000	200,000	
17						

4-4 テンプレート・共通設定のバックアップ

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合に備えて、テンプレートなどは定期的にバックアップしておきましょう。

バックアップの対象は、以下のデータです。

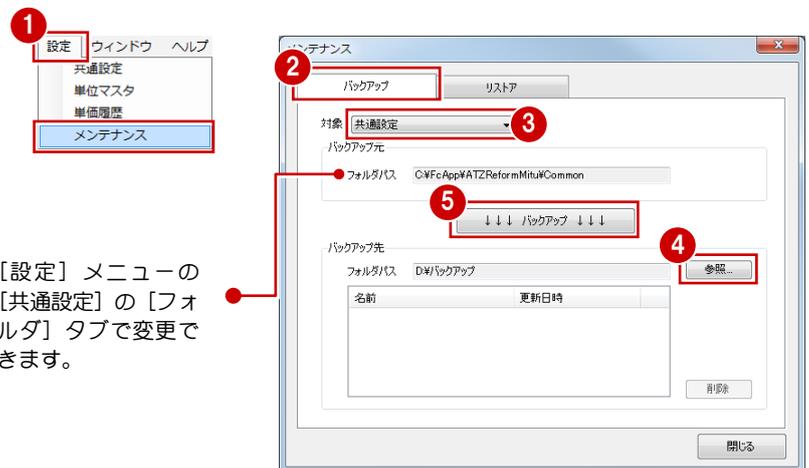
種別	対象
共通設定	<ul style="list-style-type: none"> 単位マスタ (UnitMaster.dat) 単価履歴 (UnitPrice.dat)
テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> テンプレート (*.rmb)

※ バックアップファイルは、CD-R や DVD-R などに直接書き込むことはできません (MO には可能)。

CD-R や DVD-R などへ書き込む場合は、ここで解説する手順でバックアップファイルをローカルディスクに保存した後、CD や DVD へ書き込んでください。

データをバックアップする

- プルダウンメニューから [設定] の [メンテナンス] を選びます。
- [バックアップ] タブを開いていることを確認します。
- [対象] でバックアップ対象のデータを選びます。
- [参照] でバックアップデータの保存先を設定します。
- [バックアップ] をクリックします。
- バックアップファイルのファイル名を確認して、[OK] をクリックします。
処理が始まります。
- 確認画面で [OK] をクリックします。



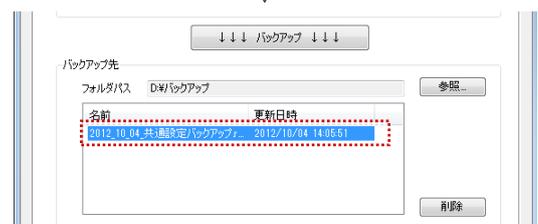
[設定] メニューの [共通設定] の [フォルダ] タブで変更できます。



見積データをバックアップするには

見積データ (*.rmz) は、マネージャーで管理する工事に登録されます。
見積データをバックアップするには、お客様データをエクスポートしてください。

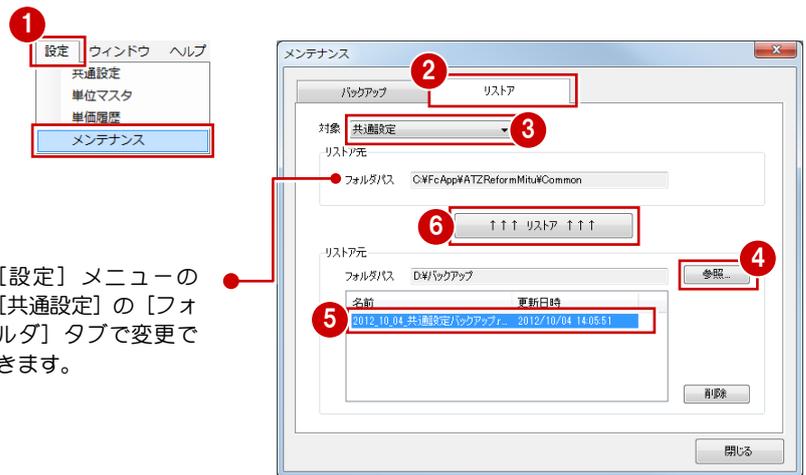
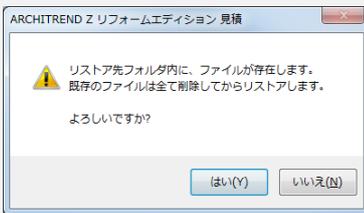
⇒ お客様データのエクスポートについては、「リフォーム入門編」P.68 参照



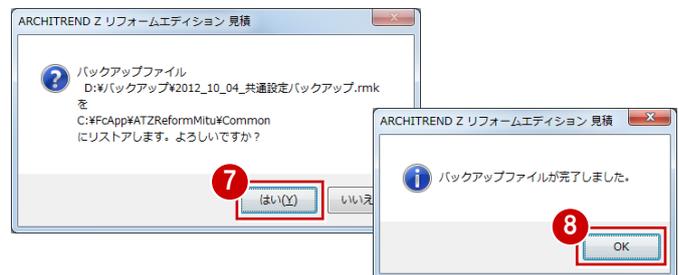
データをリストアする

- ① プルダウンメニューから [設定] の [メンテナンス] を選びます。
- ② [リストア] タブをクリックします。
- ③ [対象] でリストア対象のデータを選びます。
- ④ [参照] でバックアップデータが保存されているフォルダを設定します。
- ⑤ リストアするファイルを選びます。
- ⑥ [リストア] をクリックします。
- ⑦ 確認画面で [はい] をクリックします。処理が始まります。
- ⑧ 確認画面で [OK] をクリックします。

注意： リストア先にファイルが存在するとリストア先のフォルダにファイルやフォルダが存在する場合は、それらを削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダをすべて削除してからリストアするには [はい] を、リストア先を変更するには [いいえ] を選択します。



[設定] メニューの [共通設定] の [フォルダ] タブで変更できます。



【付録】 計算式

ここでは、リフォーム見積りに用意されている関数の種類と、関数を使用した計算式例を紹介します。

関数の種類

関数は、[計算式] ダイアログの [関数] にある [すべて] などから確認できます。



■ 数学	内容	例
ABS(数値)	数値の絶対値を返す。常に正の数値を使いたい場合に使用。	C の値が -100 の場合、ABS(C)=100
SQRT(数値)	正の平方根を返す。	<ul style="list-style-type: none"> • $\sqrt{2}$ の場合、SQRT(2)=1.41421356 • $4 \div 2$ の結果の平方根を使いたい場合、SQRT(4/2)=1.41421356
MOD(数値,除数)	数値を除数で割ったときの余りを返す。符号 (+、-) は、除数と同じになる。	5 ÷ 2 の場合、MOD(5,2)=1
■ 統計		
MAX(数値 1,数値 2)	大きいほうの数値を返します。	A=10、B=20 の場合、MAX(A,B)=20
MIN(数値 1,数値 2)	小さいほうの数値を返します。	A=10、B=20 の場合、MIN(A,B)=10
■ 丸め		
INT(数値)	数値を超えない最大の整数を返す。	A=1.5 の場合、INT(A)=1
ROUND(数値,桁数)	数値を四捨五入して指定した桁数にする。	<ul style="list-style-type: none"> • 数値 1.23 を小数 1 桁に丸める場合、ROUND(1.23,1)=1.2 • 数値 123.4 を 1 の位で丸める場合、ROUND(123.4,0)=123
ROUNDDOWN(数値,桁数)	数値を指定した桁数で切り捨てる。	数値 1.23 を小数 1 桁で丸める場合、ROUNDDOWN(1.23,1)=1.2
ROUNDUP(数値,桁数)	数値を指定した桁数で切り上げる。	数値 1.23 を小数 1 桁で丸める場合、ROUNDUP(1.23,1)=1.3
■ 論理式		
IF(論理式,真の場合,偽の場合)	論理式の結果に応じて、指定した値を返す。	<p>部屋面積と天井面積(仕上)が同じなら部屋面積、同じでなければ天井面積(仕上)にする場合</p> <p>IF(EQUAL(【部屋面積】 , 【天井面積(仕上)]) , 【部屋面積】 , 【天井面積(仕上)])</p>
AND(論理式 1,論理式 2)	論理式 1、2 のどちらも真なら真を返す。 ※ この関数は、IF 文で使用	<p>部屋面積と天井面積(仕上)が同じでかつ部屋面積が 30 m²より大きいという条件の場合、次式を IF 文の「論理式」に入れます。</p> <p>AND(EQUAL(【部屋面積】 , 【天井面積(仕上)]) , LARGE(【部屋面積】 , 30))</p>
OR(論理式 1,論理式 2)	論理式 1、2 のどちらが真なら真を返す。 ※ この関数は、IF 文で使用	<p>部屋面積と天井面積(仕上)が同じ、または部屋面積が 30 m²より大きいという条件の場合、次式を IF 文の「論理式」に入れます。</p> <p>OR(EQUAL(【部屋面積】 , 【天井面積(仕上)]) , LARGE(【部屋面積】 , 30))</p>
EQUAL(数値 1,数値 2)	数値 1 と数値 2 が等しいなら真を返す。 ※ この関数は、IF 文で使用	<p>部屋面積と天井面積(仕上)が同じという条件の場合、次式を IF 文の「論理式」に入れます。</p> <p>EQUAL(【部屋面積】 , 【天井面積(仕上)])</p>
LARGE(数値 1,数値 2)	数値 1 が数値 2 より大きいなら真を返す。 ※ この関数は、IF 文で使用	<p>天井面積(仕上)が部屋面積より大きいという条件の場合、次式を IF 文の「論理式」に入れます。</p> <p>LARGE(【天井面積(仕上)] , 【部屋面積])</p>
LARGEQUAL(数値 1,数値 2)	数値 1 が数値 2 より大きいまたは等しいなら真を返す。 ※ この関数は、IF 文で使用	<p>天井面積(仕上)が部屋面積より大きいまたは同じという条件の場合、次式を IF 文の「論理式」に入れます。</p> <p>LARGEQUAL(【天井面積(仕上)] , 【部屋面積])</p>

IF、LARGE を使用した計算式例

論理式 IF 文と LARGE 文を使用した計算式例を紹介します。

「仮設工事」に次の明細を作成してみましょう。

■ 仮設工事の明細

名称	仕様	備考	単位	計算式
外部足場	部屋面積 45 m ² 未満は 45 m ²		m ²	IF(LARGE(【部屋面積(全階)],45),【部屋面積(全階)],45)

リフォームエリアの全階の部屋面積合計が、45 m²を基準にして、【部屋面積(全階)] が 45 m²より大きいならば、数量を【部屋面積(全階)] とし、45 m²よりも小さいなら「45」とする計算式です。

① [論理] から [IF(論理式,真の場合,偽の場合)] を選びます。

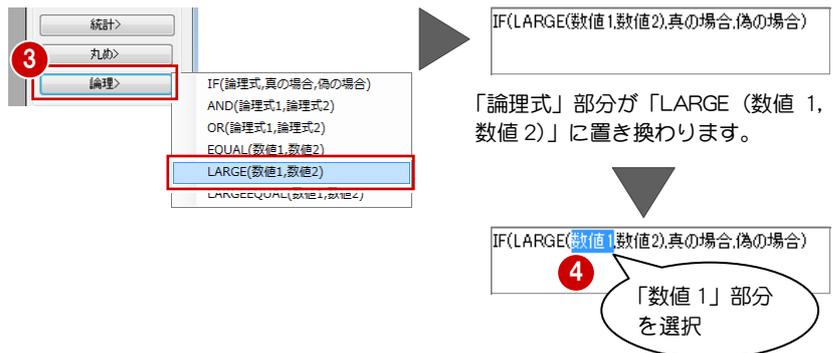
② [計算式] で「論理式」部分をドラッグして選択状態にします。

このとき「,(カンマ)」は選択しないでください。



③ [論理] から [LARGE (数値 1,数値 2)] を選びます。

④ [計算式] の LARGE 文にある「数値 1」部分をドラッグして選択状態にします。

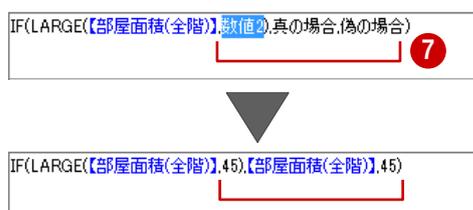


⑤ ツリーから「全階」を選び、[数量コード]にある「K181020：部屋面積 (全階)」を選びます。

⑥ [▼式へ] をクリックします。



⑦ 同様に、次のように設定します。
LARGE 文の「数値 2」、IF 文の「偽の場合」部分には、テンキーを使用して「45」を入力します。
IF 文の「真の場合」部分には「【部屋面積 (全階)]」を設定します。



IF、EQUAL、ROUNDDOWN を使用した計算式例

論理式 IF と EQUAL、丸め ROUNDDOWN を使用した計算式例を紹介します。

ここでは、操作については省略し、作成した計算式がどのように連携するのかをみてみましょう。

⇒ 関数の設定については、前ページ参照

■ 和室の明細

	名称	仕様	備考	単位	計算式
1	和室手間 6帖	6帖なら 1式		式	IF(EQUAL(ROUNDDOWN(【部屋面積】/1.65,0),6),1,0)
2	和室手間 8帖	8帖なら 1式		式	IF(EQUAL(ROUNDDOWN(【部屋面積】/1.65,0),8),1,0)

明細 1 は、リフォームエリアに設定された和室の部屋面積 m^2 を帖数に換算し、6帖ならば数量を 1 式とし、それ以外ならば 0 式とする計算式です。

同じように明細 2 は、和室の部屋面積 (帖) が 8帖ならば数量を 1 式とし、それ以外ならば 0 式とする計算式です。

ROUNDDOWN (【部屋面積】 /1.65, 0)

例えば、部屋面積が 13.2496 m^2 を帖数に換算すると、「13.2496 /1.65=8.030…」となります。ROUNDDOWN の桁数が「0」のとき、小数点以下を切り捨てて整数となるように丸めるため、次のような結果になります。

$$\text{ROUNDDOWN} (【部屋面積】 /1.65, 0) = 8$$

EQUAL (ROUNDDOWN (【部屋面積】 /1.65, 0), 8)

この関数は、「ROUNDDOWN (【部屋面積】 /1.65, 0) = 8」となるとき条件を満たすこととなります。部屋面積が 13.2496 m^2 の場合、EQUAL (8, 8) となり条件を満たします。

「和室」に次の明細を作成します。

The screenshot shows a software interface for creating a template for '和室' (Washitsu). It includes a table with columns for '名称', '仕様', '備考', '数量', '単位', '工事単価', '見積単価', '粗利率(%)', '計算式', '換算率', and '丸め'. Two rows are highlighted with red boxes, showing calculation formulas for 6-post and 8-post rooms. The formulas are: $\text{IF}(\text{EQUAL}(\text{ROUNDDOWN}(\text{【部屋面積】}/1.65,0),6),1,0)$ and $\text{IF}(\text{EQUAL}(\text{ROUNDDOWN}(\text{【部屋面積】}/1.65,0),8),1,0)$.

上記テンプレートを使用して、6帖、8帖、10帖の和室をリフォーム見積りに連携すると、各部屋の明細は次のようになります。

The diagram shows a floor plan with three rooms: '和室 (10帖)', '和室 (8帖)', and '和室 (6帖)'. Red lines connect each room to its corresponding detail table. The tables show the '数量' (Quantity) column, which is 1.00 for the 6-post room, 1.00 for the 8-post room, and 0 for the 10-post room. Explanatory text notes that the 10-post room has a quantity of 0 because it is neither 6-post nor 8-post, and the 6-post room has a quantity of 1 because it is 6-post.